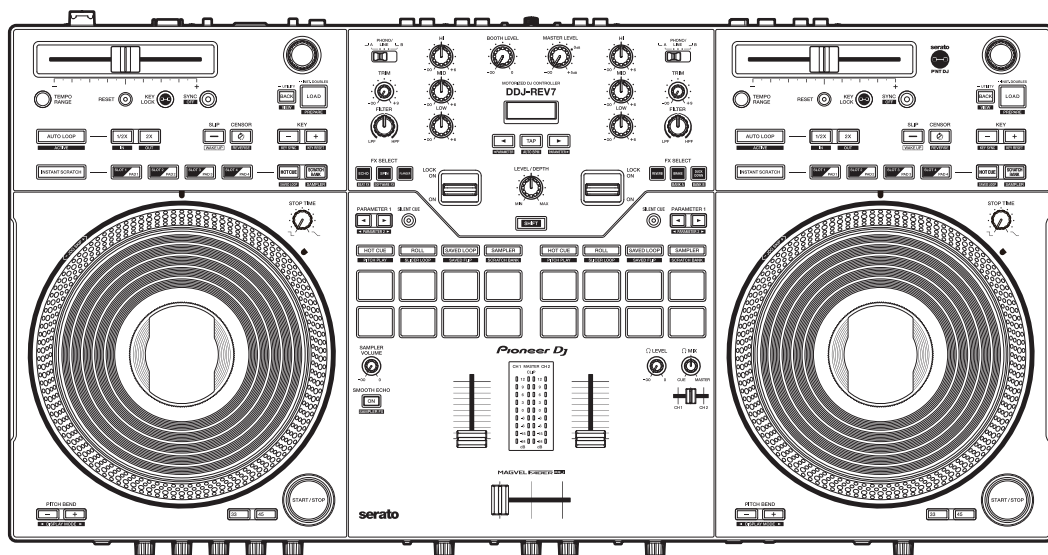




DJコントローラー

DDJ-REV7

pioneerdj.com/support/

serato.com

上記のサイトで、本製品の最新のソフトウェア情報やFAQなどのサポート情報をご覧ください。

もくじ

はじめに	6
本書の見かた	6
付属品を確認する	6
マニュアルを閲覧する	7
DJ ソフトウェアについて	8
Serato DJ Pro.....	8
Serato DJ Pro をインストールする	9
Pitch 'n Time DJ をアクティベートする	12
各部の名称.....	13
コントロールパネル	13
本体フロント部	14
本体リア部	14
ON JOG DISPLAY	17
PC / Mac の準備.....	23
設定ユーティリティを使う	25
接続（基本スタイル）.....	35
入力端子に接続する	35
出力端子に接続する	37
接続ステップ.....	38
Serato DJ Pro の操作	39
Serato DJ Pro を起動する	39
トラックをインポートする	40
トラックのロード.....	42
ブラウズセクション	42
トラックをデッキにロードする	43
再生.....	44

デッキセクション	44
再生／一時停止する	46
逆再生する	46
再生速度を調整する（テンポコントロール）	46
音程を変えずに再生速度を調整する（キーロック）	47
ジョグを操作する	47
停止時間を調整する	48
ビートシンク	48
キーシンク	49
ループ	50
LOOP セクション	50
ループを使う	51
パフォーマンスパッドと DECK PAD	53
パフォーマンスパッドセクション	53
HOT CUE モード	54
ROLL モード	55
SAVED LOOP モード	56
SAMPLER モード	57
PITCH PLAY モード	58
SLICER LOOP モード	60
SAVED FLIP モード	62
SCRATCH BANK モード	64
DECK PAD セクション	65
HOT CUE モード	65
SCRATCH BANK モード	66
SAVED LOOP モード	67
SAMPLER モード	68
スリップ	69
スリップモードを設定する	70

INSTANT SCRATCH	71
INSTANT SCRATCH セクション.....	71
INSTANT SCRATCH を使う.....	72
音声出力	73
チャンネルセクション／マスターセクション	73
音声を出力する	75
チャンネル音声の音質を調整する	76
フェーダーを設定する	76
音声モニター	79
ヘッドホンセクション	79
ヘッドホンで音声をモニターする	79
ブースセクション	80
ブースモニターを使う	80
マイク	81
MIC セクション.....	81
マイクを使う.....	82
マイクエコーを使う	82
外部入力	83
外部入力の音声をミックスする	83
AUX を使う	84
FILTER	85
FILTER セクション	85
FILTER やその他のエフェクトを使う	85
エフェクトの種類と設定方法	86
Beat FX／ソフトウェア FX	88
FX セクション.....	88
エフェクト部ディスプレイ	89
Beat FX／ソフトウェア FX を使用する	90
Beat FX の種類と設定方法.....	91

FX BANK を使う	96
FX TRIGGER モードを使う	98
SMOOTH ECHO.....	99
SMOOTH ECHO セクション	99
SMOOTH ECHO を使う	99
設定.....	101
設定を変更する	101
UTILITY 設定項目	102
スリップシートの交換	107
DJ ソフトウェアを使う (MIDI)	109
スペック	110
仕様	110
ブロックダイアグラム	113
その他.....	115
故障かな？と思ったら	115
液晶画面について	119
商標および登録商標について	119
ソフトウェアのライセンス	120
著作権	122

はじめに

本書の見かた

- このたびは、Pioneer DJ 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書と、本機に付属している「クイックスタートガイド」および「使用上のご注意」を必ずお読みください。すべて、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
- 本書では、製品本体、PC / Mac 画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、[] で囲んで記載しています。(例：[ファイル]、[CUE] ボタン)
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合があります。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合があります。

付属品を確認する

- AC アダプター × 1
- 電源コード × 1
- USB ケーブル^{*1} × 1
- 保証書（一部の地域）^{*2} × 1
- クイックスタートガイド × 1
- 使用上のご注意 × 1
- Serato DJ Pro Expansion Pack voucher^{*3} × 1
- マーキングステッカー^{*4} × 1

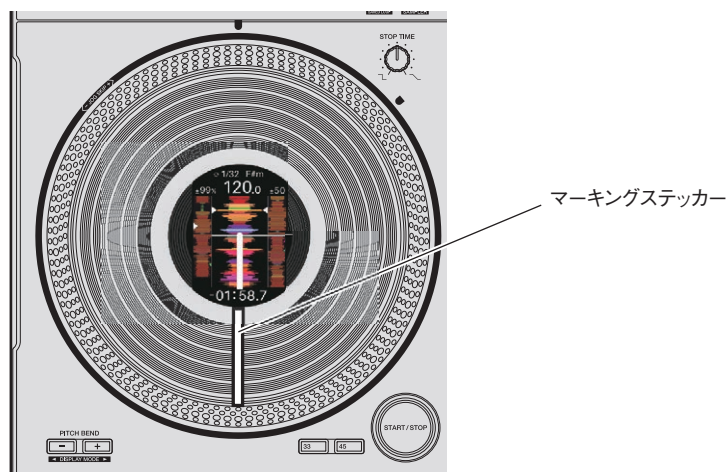
^{*1} 本機には USB ケーブルは 1 本しか付属されていません。2 台接続時には、USB 2.0 に準拠したケーブルをお使いください。

^{*2} 欧州向け製品のみ。(日本向け、北米地域は「使用上のご注意」に記載されています。)

^{*3} 拡張パックをアクティベートするには、バウチャーコードが必要です。再発行できませんので、紛失しないように十分ご注意ください。

*4 再生位置を示すためにジョグの天面に貼るステッカーです。

ON JOG DISPLAYのDIGITAL MARKERで再生位置を示すこともできます (18ページ、19ページ、21ページ、22ページ)



マニュアルを閲覧する

❖ Serato DJ Pro ソフトウェアマニュアル

下記サイトをご確認ください。

serato.com/dj/pro/downloads

DJソフトウェアについて

Serato DJ Pro をインストールしたPC／Macと本機を接続して、DJプレイを楽しむことができます。

Serato DJ Pro

Serato DJ Pro は、Serato 社製のDJソフトウェアです。

Serato DJ Pro ソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、Serato DJ Pro ソフトウェアをダウンロードしてください。

serato.com

- Serato DJ Pro の最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記のサイトを参照してください。

serato.com/dj/pro/downloads

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- PC／Macの省電力設定などによっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にラップトップでは、AC電源を接続するなど、高パフォーマンス設定でSerato DJ Pro を使用してください。

Serato DJ Pro をインストールする

❖ インストール手順（Mac）

インストールが完了するまでは、本機とMacを接続しないでください。

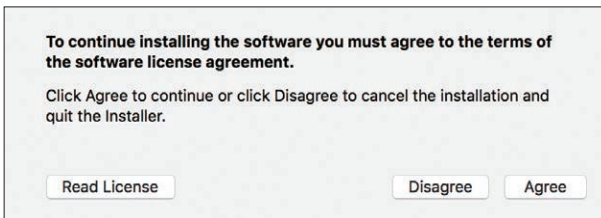
- Serato DJ Pro をインストールする前に、Mac上のすべてのアプリケーションを終了してください。

1 ダウンロードしたSerato DJ Proソフトウェアファイルを解凍する

2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックする

インストーラーが起動します。

3 使用許諾契約書をよく読み、同意する場合は「同意する」をクリックする

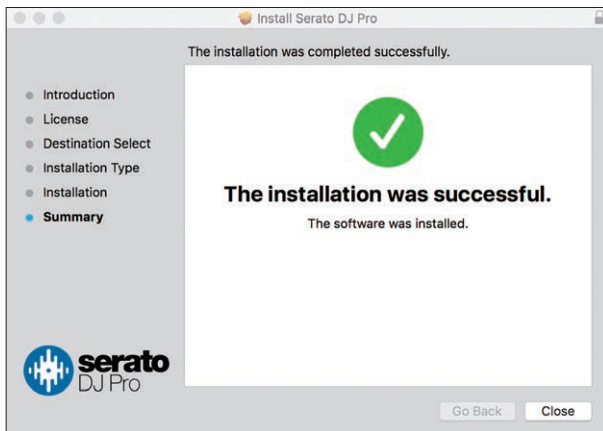


- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、「同意しない」をクリックしてインストールを中止してください。

4 「インストール」をクリックする

5 画面の指示にしたがってインストールする

6 [閉じる] をクリックする



インストーラーが終了します。

❖ インストール手順 (Windows)

インストールが完了するまでは、本機とPCを接続しないでください。

- PC (Windows) の管理者に設定されているユーザーでログインしてからインストールしてください。
- Serato DJ Pro をインストールする前に、PC (Windows) 上のすべてのアプリケーションを終了してください。

1 ダウンロードした **Serato DJ Pro** ソフトウェアファイルを解凍する

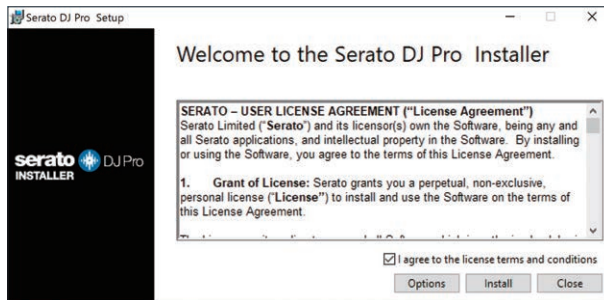
2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックする

インストーラーが起動します。

3 使用許諾契約書をよく読み、同意する場合は **[I agree to the license terms and conditions]** を選択し、**[Install]** をクリックする

DJソフトウェアについて

- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、[Close] をクリックして、インストールを中止してください。



インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

4 [Close] をクリックする



インストーラーが終了します。

Pitch 'n Time DJをアクティベートする

Pitch 'n Time DJをSerato DJ Proで使用するには、Pitch 'n Time DJをアクティベートする必要があります（インターネット接続が必要です）。

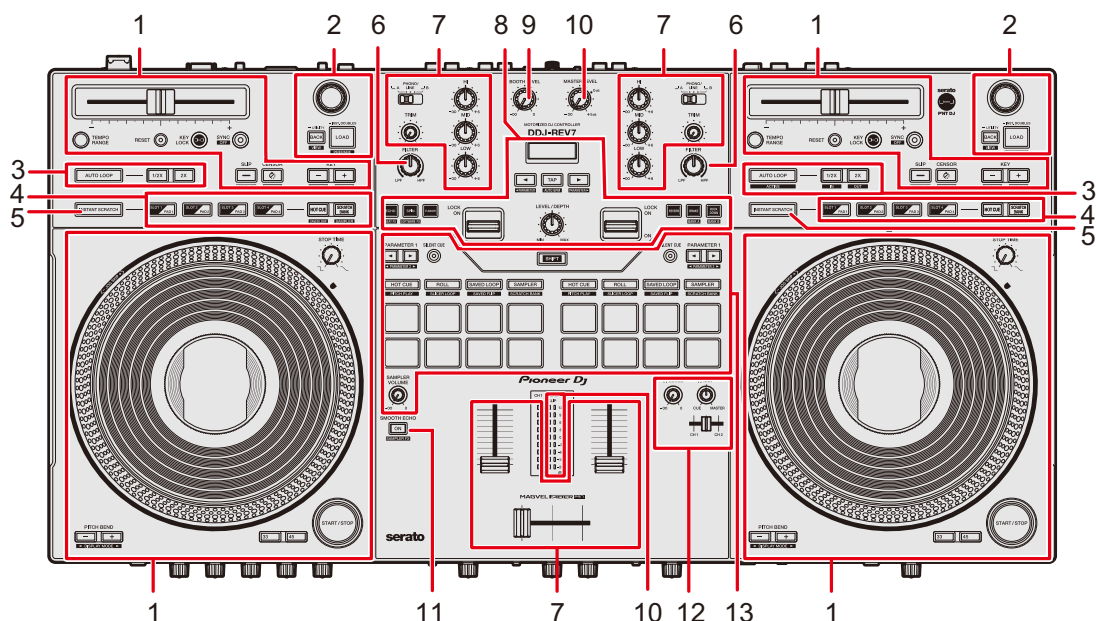
Pitch 'n Time DJのサポート情報については、下記のサイトを参照してください。

serato.com

- 1 本機とPC／MacをUSBケーブルで接続する
- 2 Serato DJ Proを起動する
- 3 [] をクリックして [Login] を選択する
- 4 serato.comへ登録したアカウント情報でログインする
- 5 [] をクリックして [Enter License Code] を選択する
- 6 付属のバウチャーコードを入力する
- 7 Serato DJ Proを再起動する

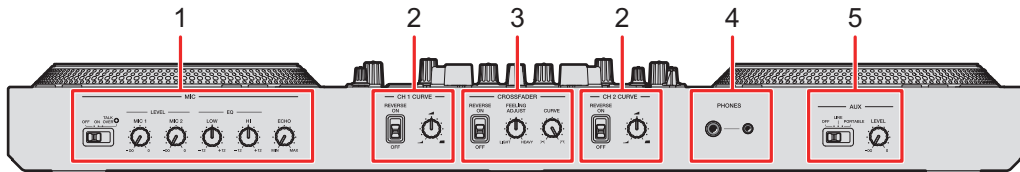
各部の名称

コントロールパネル



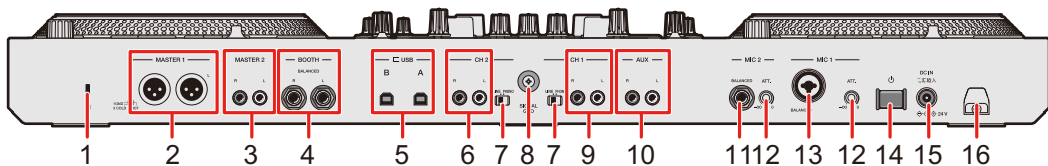
1. デッキセクション (44 ページ)
2. ブラウズセクション (42 ページ)
3. LOOP セクション (50 ページ)
4. DECK PAD セクション (65 ページ)
5. INSTANT SCRATCH ボタン (71 ページ)
6. FILTER ノブ (85 ページ)
7. チャンネルセクション (73 ページ)
8. FX セクション (88 ページ)
9. BOOTH LEVEL ノブ (80 ページ)
10. マスターセクション (73 ページ)
11. SMOOTH ECHO ボタン (99 ページ)
12. ヘッドホンセクション (79 ページ)
13. パフォーマンスパッドセクション (53 ページ)

本体フロント部



1. **MIC セクション** (81 ページ)
2. **CH CURVE セクション** (76 ページ)
3. **CROSSFADER セクション** (77 ページ)
4. **PHONES 端子** (ステレオフォンプラグ $\varnothing 6.3$ mm、 $\varnothing 3.5$ mm) (79 ページ)
ヘッドホンはどちらか一方の端子 (1/4" ステレオジャックまたは 3.5 mm ステレオミニジャック) に接続してください。両方の端子を同時に使用すると、一方の端子を抜き差しする際に、もう一方の音量が急に増減することがあります。
5. **AUX セクション** (84 ページ)

本体リア部



1. **ケンジントンロック装着用穴**
盗難防止用のワイヤーロックを装着します。
2. **MASTER 1 端子 (balanced XLR)**
パワーアンプなどのアナログ入力端子と接続します。
 - 必ずバランス出力として使用してください。XLR-RCA変換ケーブル(変換アダプター)などを使ってアンバランス入力(RCAなど)へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。
 - ほかの製品の電源コードを接続しないように注意してください。
 - ファンタム電源が供給できる端子を接続しないでください。

3. MASTER 2 端子 (RCA)

パワーアンプなどのアナログ入力端子と接続します。

- アンバランス入力 (RCA など) の接続には、[MASTER 2] 端子を使用してください。

4. BOOTH 端子 (1/4" / 6.35 mm、TRS) (80 ページ)

ブースモニター用の出力端子です。

- 必ずバランス出力として使用してください。アンバランス入力へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。

5. USB 端子 (35 ページ)

PC / Mac と接続します。

6. CH 2 端子 (35 ページ、83 ページ)

7. LINE / PHONO 切替えスイッチ (83 ページ)

[CH 1] / [CH 2] 端子に DJ プレーヤーやラインレベルの出力機器を接続した場合は [LINE] に、ターンテーブルやフォノレベル (MM カートリッジ用) の出力機器を接続した場合は [PHONO] に設定します。

8. SIGNAL GND 端子

ターンテーブルのアース線を接続します。ターンテーブル接続時の雑音を低減します。

9. CH 1 端子 (35 ページ、83 ページ)

10. AUX 端子 (84 ページ)

ラインレベルの入力機器を接続します。

11. MIC 2 端子 (1/4" / 6.35 mm、TRS) (82 ページ)

12. ATT. ノブ (82 ページ)

[MIC 1]、[MIC 2] 端子の入力音声レベルを調整します。

- お使いのマイクによって入力音声の増幅量 (ゲイン) は異なります。DJ プレイ開始前にお使いのマイクに合わせて音声レベルを調整してください。
DJ プレイ中のマイクの音量調整には、フロント部の [LEVEL (MIC 1, MIC 2)] ノブを使用してください (81 ページ)。

13. MIC 1 端子 (XLR または 1/4" / 6.35 mm、TRS) (82 ページ)

14. 〇ボタン

本機の電源をオン (●) / オフ (■) します。

注意

製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

15. DC IN 端子

付属のACアダプターと電源コードで、コンセントと接続します（35 ページ）。

16. コードフック（36 ページ）

ACアダプターのコードを固定します。

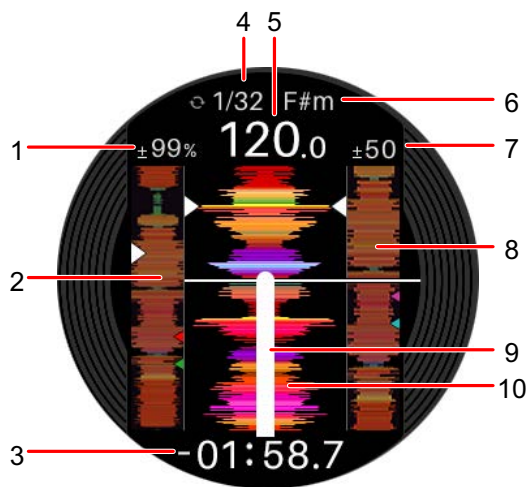
ON JOG DISPLAY

Serato DJ ProのトラックをロードしているときやINSTANT SCRATCHモードでスクラッチ音源をロードしているときに、ON JOG DISPLAYに情報が表示されます。

[SHIFT] ボタンを押しながら [33] または [45] ボタンを押すと、ON JOG DISPLAYに表示する内容 (WAVEFORM MODE、VIRTUAL DECK MODE、ARTWORK DISPLAY、DJ LOGO DISPLAY) を切り替えることができます。

☞ 「デッキセクション」 (44 ページ)

WAVEFORM MODE



1. 再生速度

[TEMPO] スライダーの位置にしたがって、数値が変化します。

2. 全体波形

トラックの全体波形を表示します。

3. 時間表示

残り時間または経過時間を表示します。

- 表示する時間（残り時間または経過時間）は、設定ユーティリティの [時間表示形式] で変更できます (30 ページ)。

4. ループ表示

ループ拍を表示し、ループ再生中は青色で表示されます。

5. **BPM表示**

トラックのBPMを表示します。

6. **キー表示**

現在のキー（調）を表示します。

7. **再生速度可変範囲表示**

オリジナルの再生速度に対して、調整できる範囲を表示します。

8. **もう一方のデッキの詳細波形**

もう一方のデッキの詳細波形を表示します。

9. **DIGITAL MARKER**

再生位置を示します。再生中は回転し、一時停止中は停止します。

- [33] または [45] ボタンを2回続けて押すと、表示／非表示を切り替えます。
- 初期設定は非表示です。

10. **詳細波形**

再生位置付近の詳細波形を表示します。

- [SHIFT] ボタンを押しながら [PITCH BEND -] または [PITCH BEND +] ボタンを押すと、詳細波形を拡大／縮小します。

VIRTUAL DECK MODE



1. ループ表示

ループ拍を表示し、ループ再生中は青色で表示されます。

2. 再生速度

[TEMPO] スライダーの位置にしたがって、数値が変化します。

3. 経過時間表示

4. 残り時間表示

5. SLIP 表示

スリップモードがオンのときに点灯します。

6. BPM 表示

トラックのBPMを表示します。

7. キー表示

現在のキー（調）を表示します。

8. キー変化量表示

トラックのオリジナルのキーと現在のキーとの変化量を表示します。

9. DIGITAL MARKER

再生位置を示します。再生中は回転し、一時停止中は停止します。

- [33] または [45] ボタンを2回連続して押すと、表示／非表示を切り替えます。
- 初期設定は非表示です。

10. 再生位置表示

再生位置を示します。再生中は回転し、一時停止中は停止します。

11. 再生速度可変範囲表示

オリジナルの再生速度に対して、調整できる範囲を表示します。

12. ホットキュー表示

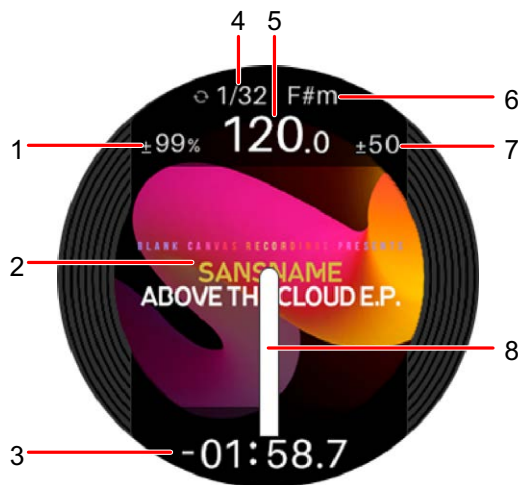
現在の再生位置から最も近いホットキューポイントの位置を表示します。

- 設定ユーティリティの「**HOT CUE INDICATORを表示する**」で、Serato DJ Proのバーチャルデッキと同様のホットキュー情報表示に変更することもできます（30ページ）。

13. KEY SYNC 表示（49 ページ）

キーシンクがオンのときに点灯します。

ARTWORK DISPLAY



1. 再生速度

「TEMPO」スライダーの位置にしたがって、数値が変化します。

2. アートワーク表示

アートワークを表示します。

3. 時間表示

残り時間または経過時間を表示します。

- 表示する時間（残り時間または経過時間）は、設定ユーティリティの「**時間表示形式**」で変更できます（30 ページ）。

4. ループ表示

ループ拍を表示し、ループ再生中は青色で表示されます。

5. BPM表示

トラックのBPMを表示します。

6. キー表示

現在のキー（調）を表示します。

7. 再生速度可変範囲表示

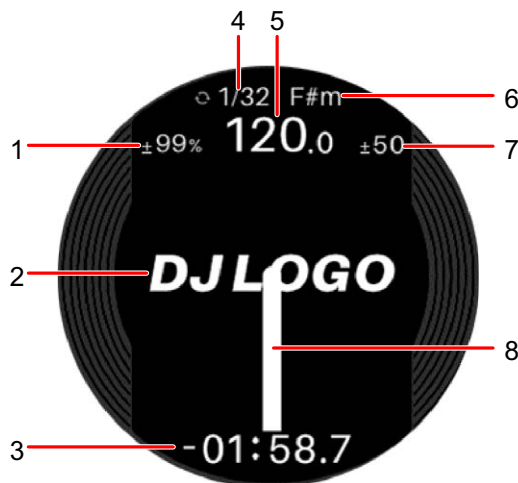
オリジナルの再生速度に対して、調整できる範囲を表示します。

8. DIGITAL MARKER

再生位置を示します。再生中は回転し、一時停止中は停止します。

- [33] または [45] ボタンを2回続けて押すと、表示／非表示を切り替えます。
- 初期設定は非表示です。

DJ LOGO DISPLAY



1. 再生速度

[TEMPO] スライダーの位置にしたがって、数値が変化します。

2. DJ LOGO表示

DJ LOGOを表示します。

- 表示するDJ LOGOは、設定ユーティリティの [DJ LOGO DISPLAY] で変更できます（30 ページ）。

3. 時間表示

残り時間または経過時間を表示します。

- 表示する時間（残り時間または経過時間）は、設定ユーティリティの [時間表示形式] で変更できます（30 ページ）。

4. ループ表示

ループ拍を表示し、ループ再生中は青色で表示されます。

5. BPM表示

トラックのBPMを表示します。

6. キー表示

現在のキー（調）を表示します。

7. 再生速度可変範囲表示

オリジナルの再生速度に対して、調整できる範囲を表示します。

8. DIGITAL MARKER

再生位置を示します。再生中は回転し、一時停止中は停止します。

- [33] または [45] ボタンを2回続けて押すと、表示／非表示を切り替えます。
- 初期設定は非表示です。

PC／Macの準備

本機にPC／Macの音声を入力／出力する場合は、お使いのPC／Macにあらかじめ専用オーディオドライバーソフトウェア／設定ユーティリティをインストールしてください。

PC（Windows）をお使いの場合は、専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールすると、設定ユーティリティも同時にインストールされます。

Macをお使いの場合は、設定ユーティリティのみインストールされます。

- 最新の動作環境、互換性、および対応OSに関する情報は、下記のPioneer DJサイトを参照してください。

pioneerdj.com/support/

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- 1台のPC／Macに、本機を複数台接続した場合の動作は保証しません。
- 専用オーディオドライバーソフトウェアがインストールされていないPC（Windows）を本機に接続すると、環境によってはPCにエラーが発生することがあります。
- お使いのPC／Mac上のソフトウェアとの組み合わせによっては、動作に不具合が発生することがあります。

専用ソフトウェアのインストール

❖ インストールについてのご注意

- インストールする前に、本機の電源をオフにし、本機とPC／Macを接続しているUSBケーブルを取り外してください。
- 専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールする前に、PC（Windows）上のすべてのアプリケーションを終了してください。
- 専用オーディオドライバーソフトウェアをお使いのPC（Windows）にインストールするには、管理者権限が必要です。
- インストールする前に、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- インストールを途中で中止したときは、はじめからインストールをやり直してください。
- インストールが完了するまでは、本機とPC／Macを接続しないでください。
- すべてのPC／Mac環境において動作保証するものではありません。

専用ソフトウェアを入手する

1 下記のサイトにアクセスする

pioneerdj.com/support/

2 [ソフトウェア更新情報] をクリックする

3 [DJ コントローラー] カテゴリー内の [DDJ-REV7] をクリックする

4 [Drivers] をクリックする

5 [ダウンロードリンク] をクリックして、ファイルを保存する

- お使いのPC / Mac によって、PC (Windows) または Mac のいずれかの専用ソフトウェアをダウンロードしてください。

専用ソフトウェアをインストールする

1 ダウンロードした専用ソフトウェアを解凍する

2 インストールファイルをダブルクリックする

- PC (Windows) をお使いの場合は“DDJ-REV7_#.###.exe”を、Mac をお使いの場合は“DDJ-REV7_M_#.###.dmg”→“DDJ-REV7SettingUtility.pkg”をダブルクリックしてください（#は専用オーディオドライバーソフトウェアのバージョン表示）。

3 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する] にチェックを入れて [OK] をクリックする

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意しないときは、[同意しない] (Macの場合) / [キャンセル] (Windowsの場合) をクリックして、インストールを中止してください。

4 画面の指示にしたがって、インストールする

設定ユーティリティを使う

PC／Macにインストールされている設定ユーティリティを使って、本機とPC／Macの接続の設定や確認ができます。

設定ユーティリティを表示する

❖ Macをお使いの場合

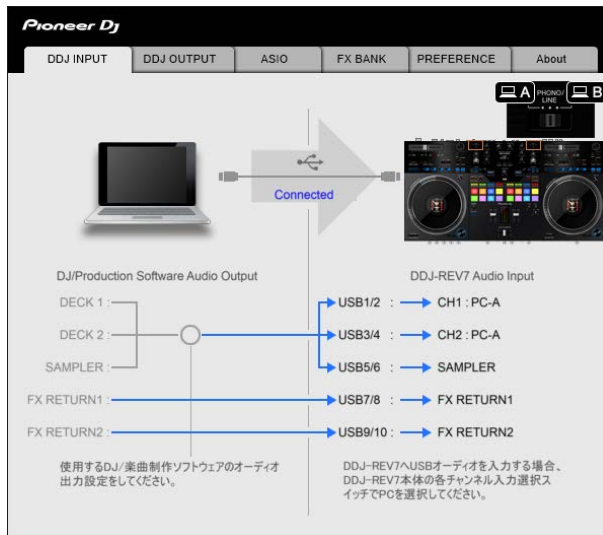
- 1 Finderで [アプリケーション] フォルダーを開く
- 2 [Pioneer] → [DDJ-REV7] → [DDJ-REV7 設定ユーティリティ] をクリックする

❖ PC (Windows) をお使いの場合

- 1 スタートメニューから [Pioneer] → [DDJ-REV7 設定ユーティリティ] をクリックする

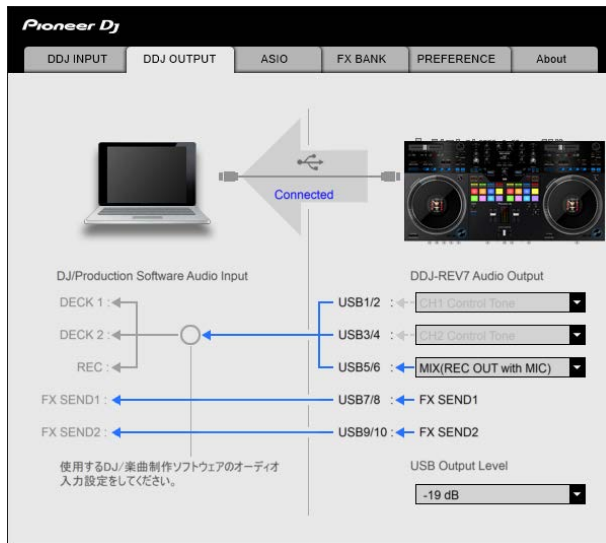
本機の入力切替えスイッチの状態を確認する

1 [DDJ INPUT] タブをクリックする



本機から PC / Mac への音声データ出力を設定する

- 1 [DDJ OUTPUT] タブをクリックする
- 2 [DDJ-REV7 Audio Output] のプルダウンリストをクリックし、本機から PC / Mac へ出力する音声を選択する



📖 「Audio Output のプルダウンリスト一覧」 (33 ページ)

- 3 [USB Output Level] のプルダウンリストをクリックし、本機から出力する音量を選択する

- DJソフトウェアの音量調整で十分な音量が得られないときは、[USB Output Level] で音量を調整します。音量を上げすぎると音声が歪むことがあります。ご注意ください。

バッファサイズを調整する（Windows ASIO 使用時）

- 本機を既定のオーディオデバイスとして利用しているアプリケーション（DJソフトウェアなど）が起動している場合は、終了してからバッファサイズを調整してください。

1 [ASIO] タブをクリックする

2 スライダーでバッファサイズを調整する



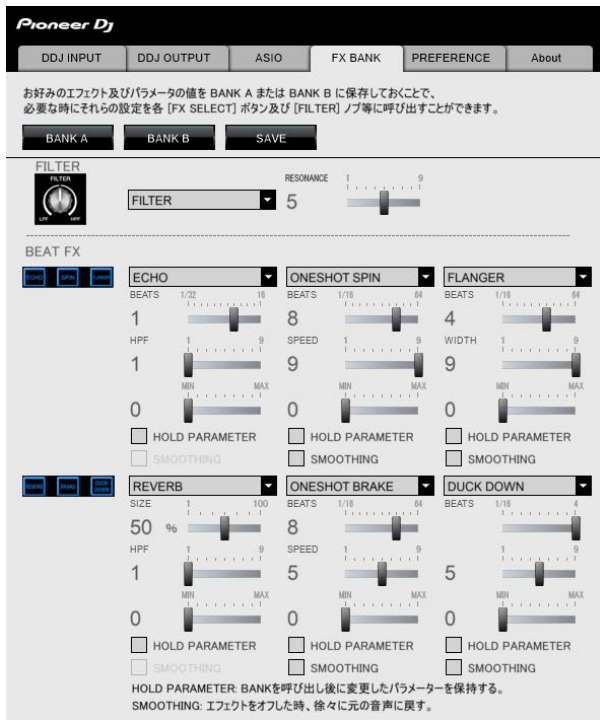
- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落（音とぎれ）などは発生しにくくなりますが、音声データの伝送遅延（レイテンシー）によるタイムラグが増大します。

エフェクトのアサインを変更する

本機の [FX SELECT] ボタンや [FILTER] ノブにアサインされているエフェクトを変更できます。

[BANK A] または [BANK B] に設定を保存し、必要なときに呼び出して使用できます。

1 [FX BANK] タブをクリックする



2 [FILTER] のプルダウンリストから、[FILTER] ノブにアサインする Filter やその他のエフェクトを選択する

☛ 「エフェクトの種類と設定方法」(86 ページ)

3 プルダウンリストから、各ボタンにアサインするエフェクトを選択する

☛ 「Beat FX の種類と設定方法」(91 ページ)

4 必要に応じて、[HOLD PARAMETER] または [SMOOTHING] にチェックを入れる

- [HOLD PARAMETER]: BANKの呼び出し後に変更したパラメータを保持します。
- [SMOOTHING]: エフェクトをオフにしたあと、徐々に元の音声に戻します。

5 [SAVE] をクリックして、保存する BANK を選択する

FX Bankが保存されます。

- [FX SELECT] ボタンにアサインするエフェクトの種類は、[FX SELECT] ボタンを押しながらロータリーセクターを回して変更することもできます。

各種設定を変更する

1 [PREFERENCE] タブをクリックする

2 各種設定を変更する

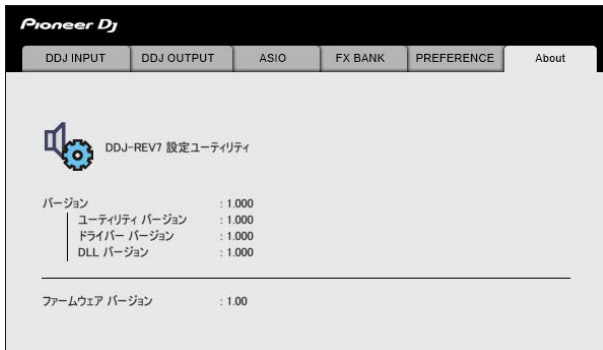


設定項目	説明
ループの操作オプション	チェックを入れると、スライダーで設定するループの長さが有効になります。 チェックを外すと、本機の [AUTO LOOP] ボタンがオートビートループボタンとして動作します。
PAD MODE 選択ボタンの操作オプション	チェックを入れると、パッドモードボタンを 2 回続けて押すことでパッドモードを切り替えることができます。 本機に PC / Mac を 2 台接続し、CH 1 と CH 2 の入力切替えスイッチが異なる PC / Mac を選択しているときは、それぞれの PC / Mac で設定が選択されているときに有効になります。
クロスフェーダー両端の音が出ない範囲の調整	スライダーで、クロスフェーダーの両端の音声を出力しない範囲を設定します。 本機に PC / Mac を 2 台接続し、CH 1 と CH 2 の入力切替えスイッチが [PHONO/LINE] を選択しているときは、この設定は無効になります（初期設定値で動作します）。
クロスフェーダーを操作した際の急激な音量変化を和らげる処理	音量を変化させる時間を調整して、クロスフェーダーを操作した際の急激な音量変化を緩和します。 - 本機に PC / Mac を 2 台接続しているときに、以下の場合は [NONE] 設定で動作します。 - CH 1 と CH 2 の入力切替えスイッチが異なる PC / Mac を選択している - CH 1 と CH 2 の入力切替えスイッチが [PHONO/LINE] を選択している
時間表示形式	ON JOG DISPLAY の WAVEFORM MODE、ARTWORK DISPLAY、DJ LOGO DISPLAY の時間表示形式（[経過時間] または [残り時間]）を設定します。

設定項目	説明
HOT CUE INDICATOR を表示する	チェックを入れると、ON JOG DISPLAY が VIRTUAL DECK MODE のときに HOT CUE INDICATOR が表示されます。 チェックを外すと、VIRTUAL DECK MODE のときに Serato DJ Pro のバーチャルデッキと同等のホットキュー情報が表示されます。
DJ LOGO DISPLAY	ON JOG DISPLAY の DJ LOGO DISPLAY で表示される画像を設定します。 1. [設定] をクリックする DDJ-REV7 Image Transfer Tool が起動します。 2. [Open] をクリックする 3. ON JOG DISPLAY に表示する画像 (bmp / jpeg / png / gif フォーマット) を選択する 4. [Transfer] をクリックする 選択した画像が本体に転送され、設定されます。 5. DJ LOGO DISPLAY に切り替えて (17 ページ)、設定した画像が ON JOG DISPLAY に表示されるか確認する • 設定した画像を消去するには、DDJ-REV7 Image Transfer Tool の [Delete] をクリックします。 • DDJ-REV7 Image Transfer Tool は Serato DJ Pro を終了させた状態でお使いください。

ファームウェアと専用ソフトウェアのバージョンを確認する

1 [About] タブをクリックする



Audio Output のプルダウンリスト一覧

- CH 4 (USB 7/8)、CH 5 (USB 9/10) は、[FX SEND] 固定です。 #：チャンネル番号

CH 1 (USB 1/2)、CH 2 (USB 3/4)	CH 3 (USB 5/6)
CH# Control Tone ¹	MIX(REC OUT with MIC) ² ⁴
MIX(REC OUT with MIC) ² ⁴	MIX(REC OUT without MIC) ² ⁴
MIX(REC OUT without MIC) ² ⁴	CROSSFADER A ² ³
Post CH# Fader ²	CROSSFADER B ² ³
CROSSFADER A ² ³	MIC
CROSSFADER B ² ³	AUX
MIC	Post CH1 Fader ²
AUX	Post CH2 Fader ²

- ① 対応ソフトウェアで使用可能です。**[USB Output Level]** の設定に関係なく、本機に入力された音量のまま出力されます。
- ② 録音用途以外で使用するときは、音声のループが発生しないよう DJ ソフトウェアの設定に注意してください。音声のループが発生すると、意図していない音量の音声が入出力される可能性があります。
- ③ **[ECHO]**、**[TIME SWEEP ECHO]**、**[DUCKING ECHO]**、**[ECHO OUT]**、**[SPIRAL]**、**[HELIX OUT]**、**[DELAY]**、**[DUCK DOWN]** のエフェクトがかかった音声は、**[CROSSFADER A]** または **[CROSSFADER B]** から出力されます。
- ④ **[REVERB]** のエフェクトのかかった音声は、**[MIX(REC OUT with MIC)]** または **[MIX(REC OUT without MIC)]** から出力されます。

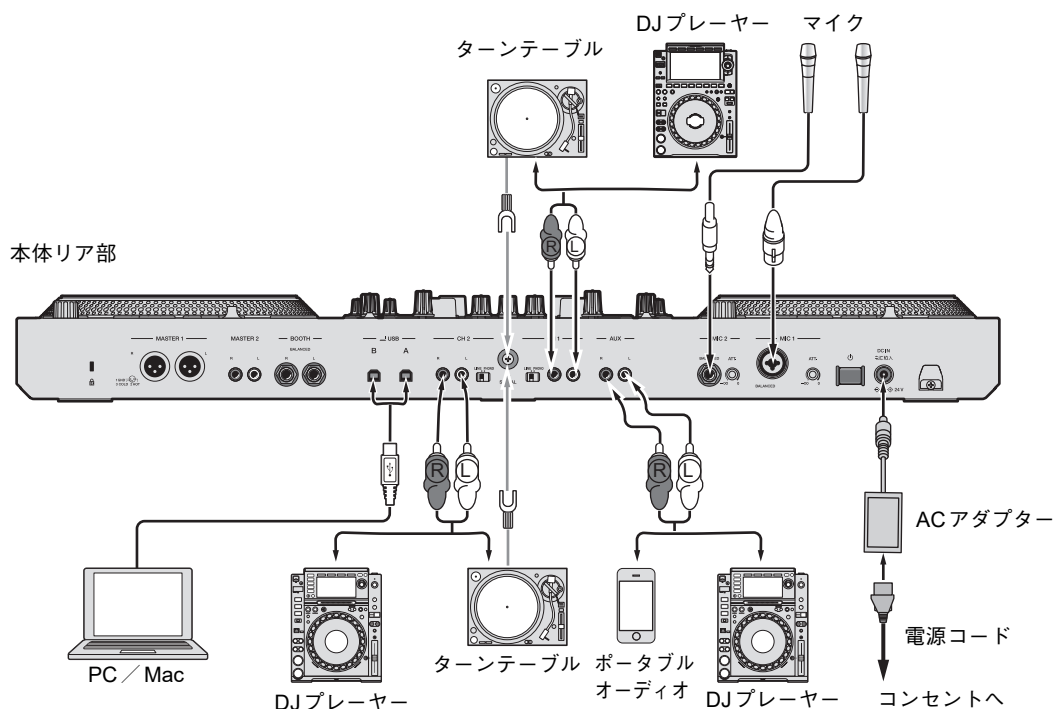
接続（基本スタイル）

接続を行う前に、必ず本機の電源をオフにし、電源コードを抜いてください。

電源コードは、すべての接続が完了してから接続してください。

- 付属の電源コードとACアダプターを使用してください。
- 接続する機器の取扱説明書も参照してください。
- PC／Macは、付属のUSBケーブル、またはUSB 2.0に準拠したケーブルで本機に直接接続してください（USBハブは使用しないでください）

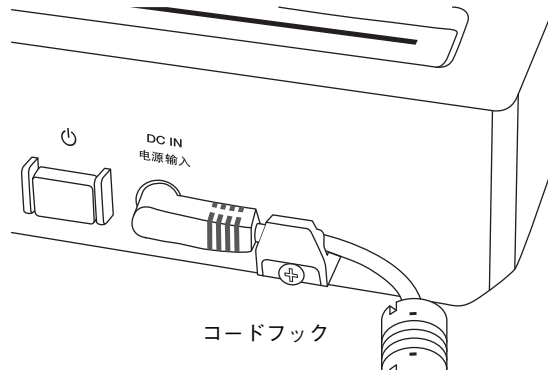
入力端子に接続する



- ターンテーブルを接続する場合は [CH 1] / [CH 2] 端子横の [LINE / PHONO] 切替えスイッチを [PHONO] に、DJ プレーヤーを接続する場合は [LINE] に設定してください。

コードフック

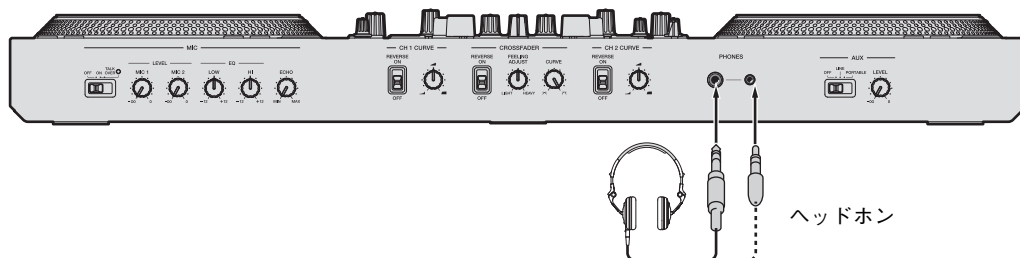
ACアダプターのコードは、コードフックに通して固定してください。
プラグが誤って端子から抜け、再生中に音声途切れるのを防ぎます。



- AC アダプターのコードの根元を折り曲げた状態で固定しないでください。曲げたまま固定して使い続けると、コードが断線して接触不良を起こす場合があります。

出力端子に接続する

❖ 本体フロント部

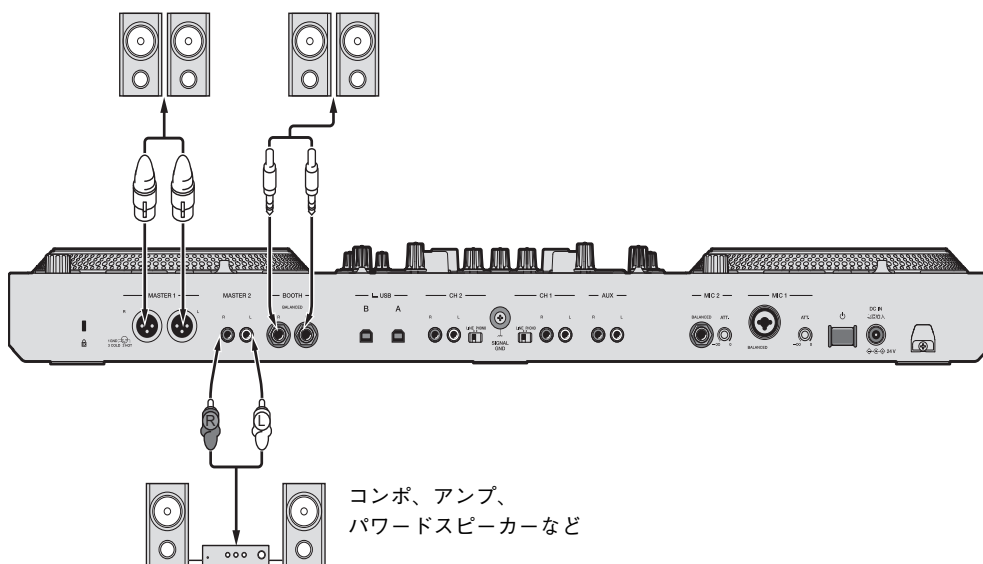


ヘッドホン

❖ 本体リア部

パワーアンプ、
パワードスピーカーなど

パワーアンプ（ブースモニター用）、
パワードスピーカーなど



コンボ、アンプ、
パワードスピーカーなど

- **[MASTER 1]** 端子は、必ずバランス出力として使用してください。
XLR-RCA変換ケーブル（変換アダプター）などを使ってアンバランス入力（RCAなど）へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。
- アンバランス入力（RCAなど）の接続には、**[MASTER 2]** 端子を使用してください。
- **[MASTER 1]** 端子に、ほかの製品の電源コードを接続しないように注意してください。
- **[MASTER 1]** 端子に、ファンタム電源が供給できる端子を接続しないでください。
- **[BOOTH]** 出力端子は、必ずバランス出力として使用してください。
TRS-RCA 変換ケーブル（変換アダプター）、TS ケーブルなどを使ってアンバランス入力（RCA、TS 端子など）へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。

接続ステップ

- 1 本体フロント部の**PHONES**端子のいずれかにヘッドホンを接続する
- 2 **[MASTER 1]** または **[MASTER 2]** 端子に、パワーアンプなどの出力機器を接続する
 - ブースモニターを使用するときは、**[BOOTH]** 端子にブースモニター用の機器を接続します。
 - マイクやDJプレーヤーなどの入力機器を使用する場合は、**[CH 1]** / **[CH 2]** 端子に接続して、**[LINE / PHONO]** 切替えスイッチを設定してください。
- 3 **USB** ケーブルで、**PC / Mac** を本機に接続する
- 4 **PC / Mac** の電源をオンにする
- 5 本機に**AC** アダプターを接続する
- 6 本機の電源をオンにする
 - PC（Windows）をお使いの場合は、デバイス準備中のメッセージが表示されることがあります。準備完了のメッセージが表示されるまでお待ちください。
- 7 **[MASTER 1]** または **[MASTER 2]** 端子に接続した機器の電源をオンにする
 - マイクやDJプレーヤーなどの入力機器を使用する場合は、電源をオンにします。

Serato DJ Pro の操作

ここでは、本機を使用する際の Serato DJ Pro の基本操作を説明します。

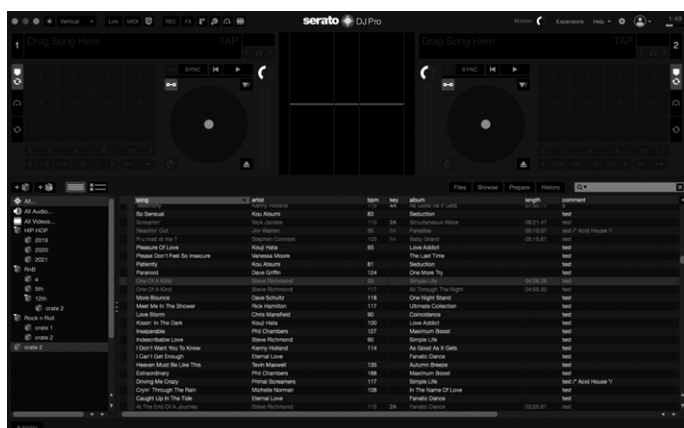
Serato DJ Pro の操作の詳細については、Serato DJ Pro のソフトウェアマニュアルを参照してください（7 ページ）。

- あらかじめ、本機と PC / Mac を正しく接続してください（35 ページ）。

Serato DJ Pro を起動する

1 お使いの PC / Mac のアプリケーションの一覧から、[Serato DJ Pro] をクリックする

Serato DJ Pro が起動し、以下の画面が表示されます。



- 初回起動時は、画面右側に [BUY/ACTIVATE] が表示されることがあります。DDJ-REV7 をお使いの場合はアクティベーションやライセンスを購入する必要はありません。DVS などの追加オプション（拡張パック）を使用したい場合は、購入してください。

トラックをインポートする

ここでは、Serato DJ Proでトラックをインポートする代表的な操作を説明します。

- その他のインポート方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（7 ページ）。
- Serato Limited 社のDJ ソフトウェア（Scratch Live、ITCH、Serato DJ Intro、Serato DJ Lite）をお使いで、すでにライブラリを作成している場合は、以前作成したライブラリをそのまま使用できます。

Serato DJ Lite をお使いの場合は、以前作成したライブラリを使用する際にトラックの再解析が必要になることがあります。

1 Serato DJ Proの画面で、[Files] をクリックする

[Files] パネルが開き、お使いのPC／Macや、PC／Macに接続されている周辺機器に含まれる内容が表示されます。

2 ライブラリに加えたいトラックが含まれているフォルダーをクリックする

フォルダーが選択されます。

3 選択したフォルダーを **crates** パネルにドラッグ&ドロップする

crateが作成され、ライブラリにトラックが追加されます。

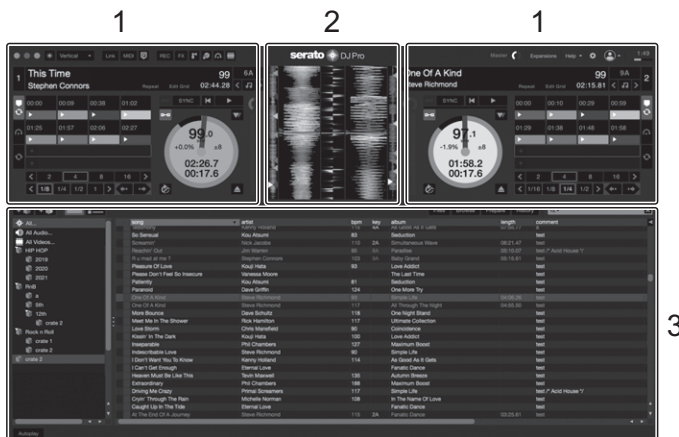


2

1. Files パネル
2. crate パネル

Serato DJ Pro の操作

- Serato DJ Proにトラックをロードしているときは、以下の表示となります。
[Library] をクリックして、プルダウンメニューから [Vertical] または [Horizontal] をクリックして画面を切り替えてください。

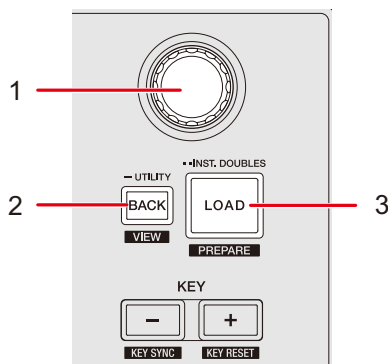


1. デッキ部
ロードされたトラックの曲名、アーティスト名、BPM などのトラック情報や全体波形などを表示します。
2. WAVEFORM表示
3. ブラウザ部
ライブラリ内のトラックや複数のトラックをまとめて保存したcrateを表示します。

トラックのロード

本機を使って Serato DJ Pro の画面をブラウズし、トラックをロードできます。

ブラウズセクション



1. ロータリーセクター

Serato DJ Pro 画面で、ライブラリや crates パネルのカーソルを上下に移動します。

- カーソルが crates パネルまたはライブラリにあるときに押すと、crates パネルとライブラリ間でカーソルを移動します。
- カーソルが **[Files]** パネルにあるときに押すと、カーソルが下位階層へ移動します。
- カーソルが **[Browse]** パネルにあるときに押すと、カーソルが次のカテゴリーへ移動します。

2. BACK ボタン (101 ページ)

Serato DJ Pro 画面で、crates パネルとライブラリ間でカーソルを移動します。

- crates パネルで選択している項目に subcrate があるときは、押すたびに crate を開閉します。
- カーソルが **[Files]** パネルにあるときに押すと、カーソルが上位階層へ移動します。
- カーソルが **[Browse]** パネルにあるときに押すと、カーソルが前のカテゴリーへ移動します。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、Serato DJ Pro のレイアウトを切り替えます。

3. LOAD ボタン

選択中のトラックを、デッキにロードします。

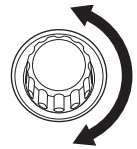
- 2回続けて押すと、もう一方のデッキにロードされているトラックを、ボタンを押したデッキにロードします (再生位置も同じになります)。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、Serato DJ Proの **[Prepare]** パネルにトラックをロードします。

トラックをデッキにロードする

1 **[BACK]** ボタンを押して、**crates** パネルにカーソルを移動する

2 ロータリーセクターを回して、**crate** をハイライトする



3 ロータリーセクターを押す

カーソルが選択したcrateのトラックリストに移動します。

4 ロータリーセクターを回して、トラックをハイライトする

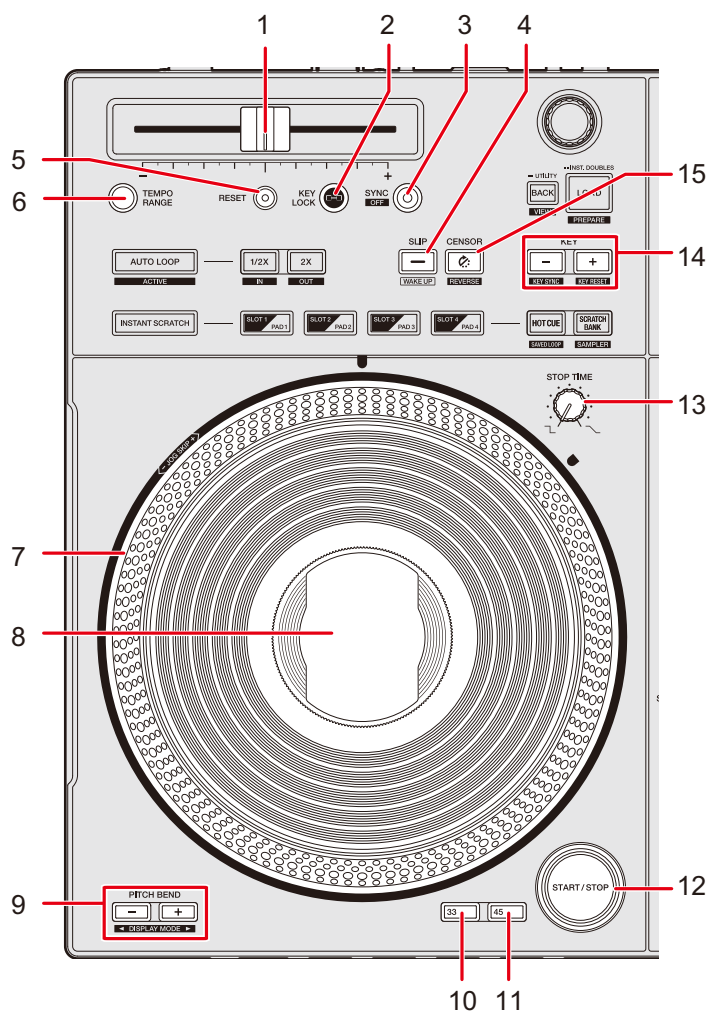
5 **[LOAD]** ボタンを押す

ボタンを押したデッキにトラックがロードされます。

再生

左側のデッキでDECK 1、右側のデッキでDECK 2を操作します。

デッキセクション



1. **TEMPO スライダー**
トラックの再生速度を調整します。
2. **KEY LOCK ボタン**
キーロックをオン／オフします。

3. SYNC ボタン

ボタンを押したデッキで再生中のトラックのテンポ (BPM) とビートグリッドを、もう一方のデッキにロードされているトラックに合わせます。

4. SLIP ボタン (69 ページ)

SLIP モードをオン／オフします。

5. RESET ボタン

TEMPO スライダーの位置に関わらず、トラックのオリジナルの再生速度に戻します。

6. TEMPO RANGE ボタン

TEMPO スライダーの可変範囲を切り換えます。

7. ジョグ

- ジョグの天面に物をのせたり、強い力を加えないでください。

8. ON JOG DISPLAY (17 ページ)

- 液晶ディスプレイは非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け (ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点) が見えることがあります。また、見る角度によっては色むらや明るさのむらがみえることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。

9. PITCH BEND -、PITCH BEND + ボタン (18 ページ)

一時的にピッチを調整します。

10. 33 ボタン (17 ページ)

ジョグの回転速度を 33 RPM に設定します。

11. 45 ボタン (17 ページ)

ジョグの回転速度を 45 RPM に設定します。

12. START/STOP ボタン

トラックを再生／一時停止します。

13. STOP TIME ノブ

[START/STOP] ボタンを押してから、再生が停止するまでの時間を調整します。

14. KEY -、KEY + ボタン

キーを調整します。

15. CENSOR ボタン

逆再生します。

再生／一時停止する

1 [START/STOP] ボタンを押す

一時停止中：再生を開始します。

再生中：一時停止します。

- 再生中は、ジョグが回転します。

逆再生する

1 [CENSOR

ボタンを押している間、スリップリバーします (69 ページ)。

- [SHIFT] ボタンを押しながら [CENSOR - トラックをまたいだ逆再生はできません。
- 逆再生中にループ再生などの操作を行うと、スクラッチできないことがあります。

再生速度を調整する (テンポコントロール)

1 TEMPO スライダーを動かす

[+] 側に動かす：再生速度が速くなります。

[-] 側に動かす：再生速度が遅くなります。

- [TEMPO RANGE] ボタンを押すたびに TEMPO スライダーの可変範囲が $\pm 8\% \rightarrow \pm 16\% \rightarrow \pm 50\% \rightarrow \pm 8\%$... と切り替わります。
- [RESET] ボタンを押すと、TEMPO スライダーの位置に関わらず、トラックのオリジナルの再生速度に戻ります。

音程を変えずに再生速度を調整する（キーロック）

キーロックをオンにすると、TEMPOスライダーで再生速度を変えても音程が変わりません。

1 [KEY LOCK] ボタンを押して、キーロックをオンにする

キーロックをオンにすると、ボタンが点灯します。

- もう一度 [KEY LOCK] ボタンを押すと、キーロックがオフになります。

ジョグを操作する

ジョグで以下の操作が可能です。

機能	説明
スクラッチ	再生中にジョグの天面にタッチしたまま回転させるとスクラッチできます。ジョグの天面から手を離すと、通常の再生に戻ります。
JOG SKIP	[SHIFT] ボタンを押しながらジョグの天面を回すと、回転方向に高速でトラックを送ります。[SHIFT] ボタンを離すとスクラッチ動作に変わり、再生位置を微調整することができます。

- [33] ボタンまたは [45] ボタンを押して、ジョグの回転速度を 33 RPM または 45 RPM に変更できます。

停止時間を調整する

[START/STOP] ボタンを押してからジョグの回転が減速して停止するまでの時間を調整します。

1 [STOP TIME] ノブを回す

右に回す：停止時間が長くなります。

左に回す：停止時間が短くなります。

ビートシンク

ビートシンクをオンにすると、本機の左右のデッキで再生するトラックのテンポ（BPM）と拍位置を自動で合わせます。

- Serato DJ Pro で解析していないトラックはビートシンクできません。

1 DECK 1 または DECK 2 で、Serato DJ Pro で解析済みのトラックを再生する

2 シンクさせるデッキで [SYNC] ボタンを押す

ビートシンクがオンになります。

- [SHIFT] ボタンを押しながら [SYNC] ボタンを押すと、ビートシンクがオフになります。

キーシンク

キーシンクをオンにすると、本機の左右のデッキで再生するトラックのキーを自動で合わせます。

- Serato DJ Pro で解析していないトラックはキーシンクできません。

1 DECK 1 または DECK 2 で、Serato DJ Pro で解析済みのトラックを再生する

2 キーシンクさせるデッキで、[SHIFT] ボタンを押しながら [KEY -] ボタンを押す

キーシンクがオンになります。

以下のうち、変化が少ないキーに調整します。

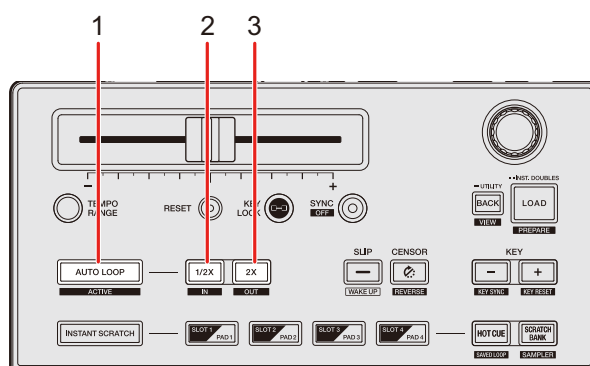
- 同じ調
- 属調
- 下屬調
- 平行調
- 属調の平行調
- 下屬調の平行調

- [SHIFT] ボタンを押しながら [KEY +] ボタンを押すと、元のキーに戻ります。

ループ

指定した区間を繰り返し再生します。

LOOP セクション



1. AUTO LOOP ボタン

お好みの拍のループ再生またはオートビートループを実行します。

[SHIFT] ボタンを押しながら押すと、ループアクティブのオン／オフを切り替えます。

- 設定ユーティリティの [ループの操作オプション] で、[AUTO LOOP] ボタンを押したときの動作を、お好みの拍のループとオートビートループのいずれかに設定できます (31 ページ)。

2. 1/2X ボタン

ループを半分の長さにします。

再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら押すと、ループインポイントを設定します。

3. 2X ボタン

ループを2倍の長さにします。

再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら押すと、ループアウトポイントを設定します。

ループを使う

ループを自動設定する

1 再生中に [AUTO LOOP] ボタンを押す

ボタンを押した位置からループ再生を開始します。

ループを手動設定する

1 再生中に、ループ再生を開始する位置（ループインポイント）で [SHIFT] ボタンと [1/2X] ボタンを押す

2 ループ再生を終了する位置（ループアウトポイント）で [SHIFT] ボタンと [2X] ボタンを押す

設定した区間のループ再生を開始します。

ループを半分の長さにする

1 ループ再生中に [1/2X] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ループの長さが半分にになります。

ループを2倍の長さにする

1 ループ再生中に [2X] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ループの長さが倍になります。

ループポイントを微調整する

1 ループ再生中に、[SHIFT] ボタンを押しながら [1/2X] または [2X] ボタンを押す

- [1/2X]：ループインポイントを調整します。
- [2X]：ループアウトポイントを調整します。

2 ジョグを回してループポイントを微調整する

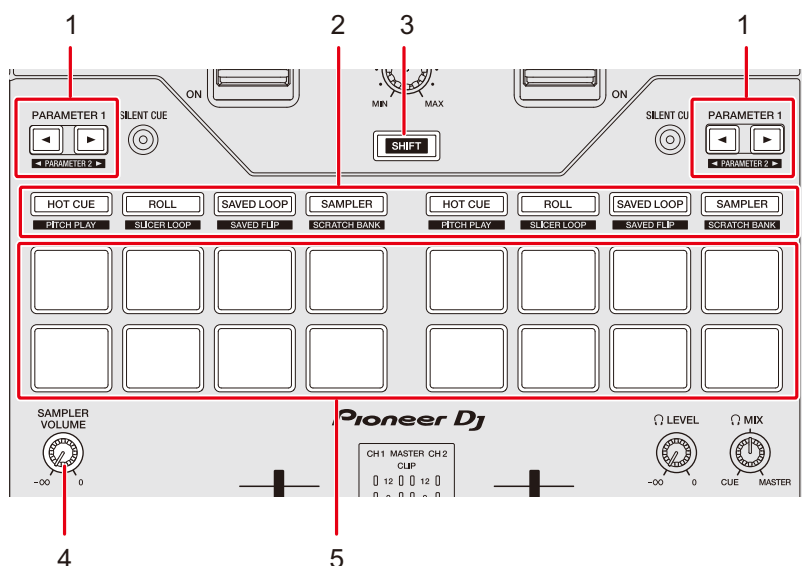
- もう一度 [1/2X] または [2X] ボタンを押すか、10 秒以上何も操作しないとループ再生に戻ります。

パフォーマンスパッドと DECK PAD

パフォーマンスパッドと DECK PAD を組み合わせて、同時に2つのモードを使用できます。

- INSTANT SCRATCH をオンにしているデッキでは使用できません。

パフォーマンスパッドセクション



1. **PARAMETER 1 ◀、PARAMETER 1 ▶ ボタン**

パラメーターを設定します。

2. **パッドモードボタン**

3. **SHIFT ボタン**

[SHIFT] ボタンを押しながら各ボタンを押すと、ボタンにアサインされている別の機能呼び出します。

4. **SAMPLER VOLUME ノブ**

サンプラー音声の音量を調節します。

5. **パフォーマンスパッド**

HOT CUE モード

パフォーマンスパッドを押すと、ホットキューポイントを瞬時に呼び出し、再生を開始します。

- 設定できるホットキューは、1トラックにつき8個までです。
- HOT CUE モードは、DECK PAD（[**SLOT/PAD 1, 2, 3, 4**] ボタン）で 사용할 수도 있습니다（65 ページ）。

1 [HOT CUE] ボタンを押す

HOT CUE モードに切り替わります。

2 再生中または一時停止中に、ホットキューポイントを設定したい位置でいずれかのパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントが設定されます。

- ホットキューは、以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられます。

ホット キュー 1	ホット キュー 2	ホット キュー 3	ホット キュー 4
ホット キュー 5	ホット キュー 6	ホット キュー 7	ホット キュー 8

3 ホットキューポイントが設定されているいずれかのパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生を開始します。

- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されているホットキューポイントを削除します。

ROLL モード

パフォーマンスパッドを押している間、パッドに割り当てられている拍数のループロール再生を行います。

1 [ROLL] ボタンを押す

ROLL モードに切り替わります。

2 [PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、パフォーマンスパッドに割り当てる拍数が以下のように切り替わります。

- 1/32 から 4 拍
- 1/16 から 8 拍
- 1/8 から 16 拍
- 1/4 から 32 拍

例：1/8 から 16 拍を設定した場合、各パフォーマンスパッドには以下のように拍数が割り当てられます。

1/8 拍	1/4 拍	1/2 拍	1 拍
2 拍	4 拍	8 拍	16 拍

Serato DJ Pro の画面には、設定されている拍数が表示されます。



3 ループ再生したい拍数が設定されているパフォーマンスパッドを押す

パッドを押している間、設定されている拍数でループロール再生を行います。

- ループロール再生中に [1/2X] または [2X] ボタンを押すと、再生中のループロールの拍数を変更できます。

- ループロール再生中は、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。
- パフォーマンスパッドを離すとループロール再生が解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。

SAVED LOOP モード

Serato DJ Proのループスロットにループを保存したり、保存したループを呼び出します。

- SAVED LOOPモードは、DECK PAD（[**SLOT/PAD 1, 2, 3, 4**] ボタン）で 사용할 수도 있습니다（67 ページ）。

1 [**SAVED LOOP**] ボタンを押す

SAVED LOOPモードに切り替わります。

2 ループ再生中に、いずれかのパフォーマンスパッドを押す

Serato DJ Proのループスロットにループが割り当てられます。



3 [**SHIFT**] ボタンを押しながら、ループが設定されているいずれかのパフォーマンスパッドを押す

ループの先頭から再生を開始します。

- ループ再生中に [**PARAMETER 1 ◀**] または [**PARAMETER 1 ▶**] ボタンを押すと、再生中のループの長さを変更できます。呼び出したループの長さを変更した場合は、設定が上書き保存されます。
 - ループ再生中に [**SHIFT**] ボタンを押しながら [**1/2X**] または [**2X**] ボタンを押すと、ループの長さを変えずにループを移動できます。呼び出したループを移動した場合は、設定が上書き保存されます。
- もう一度同じパフォーマンスパッドを押すと、ループ再生が解除されます。

SAMPLER モード

パフォーマンスパッドを使って、サンプラーのサンブラースロットにロードされたトラックの再生を開始します。

- SAMPLER モードは、DECK PAD（[**SLOT/PAD 1, 2, 3, 4**] ボタン）で使用することもできます（68 ページ）。

1 Serato DJ Pro の画面で、[**SAMPLER**] パネルを表示する

2 本機の [**SAMPLER**] ボタンを押す

SAMPLER モードに切り替わります。

3 [**PARAMETER 1 ◀**] または [**PARAMETER 1 ▶**] ボタンを押して、サンプラーのバンクを切り替える

4 つ（A、B、C、D）のバンクが切り替わります。

- それぞれのバンクには 8 つのスロットがあります。

4 Serato DJ Pro の画面で、トラックを [**SAMPLER**] パネルの各スロットにドラッグアンドドロップしてロードする

サンプラーの設定とロードしたトラックが保存されます。

5 再生したいスロット（トラック）が設定されているパフォーマンスパッドを押す

スロット音声の再生を開始します。

- 各スロットは以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

スロット 1	スロット 2	スロット 3	スロット 4
スロット 5	スロット 6	スロット 7	スロット 8

6 [**SAMPLER VOLUME**] ノブを回して、サンプラー音声の音量を調節する

- Serato DJ Proのサンプラーのモードによって再生方法が異なります。詳細については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（7 ページ）。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、スロット音声の再生を停止します。

PITCH PLAY モード

ピッチプレイとは、Pitch 'n Time DJの機能です。

- Pitch 'n Time DJモードを使用するには、Pitch 'n Time DJのアクティベートが必要です（12 ページ）。

1 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、**[HOT CUE]** ボタンを押す

PITCH PLAYモードに切り替わります。

2 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに設定されているホットキューポイントが選択されます。

3 パフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに割り当てられているピッチで、選択したホットキューポイントから再生を開始します。

- ピッチプレイ中に、**[PARAMETER 1 ◀]** または **[PARAMETER 1 ▶]** ボタンを押すと、ピッチのレンジを変更できます。ボタンを押すごとに、アップレンジ、ミドルレンジ、ダウンレンジが切り替わります。

— アップレンジ：

+4	+5	+6	+7
0	+1	+2	+3

パフォーマンスパッドと DECK PAD

— ミドルレンジ :

0	+1	+2	+3
-4	-3	-2	-1

— ダウンレンジ :

-3	-2	-1	0
-7	-6	-5	-4

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[PARAMETER 1 ◀]** または **[PARAMETER 1 ▶]** ボタンを押すと、ピッチのレンジを半音単位でシフトできます。

SLICER LOOP モード

指定した範囲を8分割し、分割したそれぞれの区間を各パフォーマンスパッドに割り当てます。

パフォーマンスパッドを押している間、パッドに割り当てられている区間の音声をループ再生します。



- スライサーループは、ビートグリッドが設定されていないトラックでは使用できません。ビートグリッドの設定方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（7 ページ）。

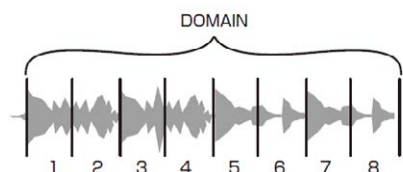
1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[ROLL] ボタンを押す

SLICER LOOP モードに切り替わります。

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、[PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押して、8分割する範囲（DOMAIN）を指定する

- ボタンを押すごとに、ボタンを押した位置から DOMAIN が以下のように設定されます。
 - 2拍
 - 4拍
 - 8拍
 - 16拍
 - 32拍
 - 64拍
- DOMAIN を8分割した各区間は、各パフォーマンスパッドに以下のように割り当てられます。

分割された区間1～8:



パフォーマンスパッドへの割り当て:



3 [PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押して、**QUANTIZATION**を設定する

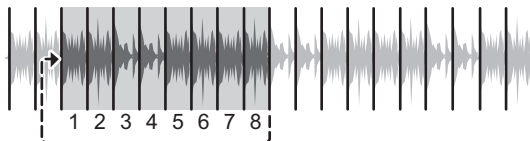
ボタンを押すごとに、QUANTIZATIONが以下のように設定されます。

- 1/8 (区間の先頭から 1/8 の長さをループ再生する)
- 1/4 (区間の先頭から 1/4 の長さをループ再生する)
- 1/2 (区間の先頭から 1/2 の長さをループ再生する)
- 1 (区間全体をループ再生する)

4 ループ再生したい区間が設定されているパフォーマンスパッドを押す

パッドを押している間、ループ再生を行います。

- スライサーループ再生中は、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。
- パフォーマンスパッドを離すとスライサーループ再生が解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。
- 再生位置が DOMAIN の最後まで進むと、先頭 (区間 1) に戻ります。



- [ROLL] ボタン、[HOT CUE] ボタン、[SAMPLER] ボタンのいずれかを押すと、SLICER LOOP モードを解除します。

SAVED FLIP モード

Serato Flip は、ホットキュー操作などのシーケンスを記録したり、呼び出したりする機能です。

本機のパフォーマンスパッドを使って、Flip を保存したり、再生できます。

- Saved Flip モードを使用するには、Serato Flip の購入とアクティベートが必要です。詳細については、下記のサイトを参照してください。

serato.com

Flip をスロットへ保存する

1 Serato DJ Pro を使って、Flip を作成する

- Flip の作成方法については、Serato DJ Pro のソフトウェアマニュアルを参照してください（7 ページ）。

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、[SAVED LOOP] ボタンを押す

SAVED FLIP モードに切り替わります。

3 Flip を保存したいスロットが設定されているパフォーマンスパッドを押す

Flip がスロットに保存されます。

- 各スロットは以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

スロット1	スロット2	スロット3	スロット4
スロット5	スロット6	スロット7	スロット8

- スロットに空きがないときは、Flip を保存できません。Serato DJ Pro のスロット画面で、スロットに設定されている Flip を削除してください。

Flip を呼び出して再生する

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[SAVED LOOP] ボタンを押す

SAVED FLIP モードに切り替わります。

2 再生したいスロット (Flip) が設定されているパフォーマンスパッドを押す

Flip を呼び出し、先頭から再生を開始します。

- 各スロットは以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

スロット1	スロット2	スロット3	スロット4
スロット5	スロット6	スロット7	スロット8

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、Flip を呼び出しますが、先頭へは移動しません。トラックの再生位置が Flip の先頭に達すると、Flip の再生が開始されます。
- Flip 再生中にパフォーマンスパッドを押すと、再生中の Flip の先頭へ移動します。
- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、Flip の再生を終了して通常の再生に戻ります。

SCRATCH BANK モード

スクラッチバンクの音声をデッキにロードして使用します。

- SCRATCH BANK モードは、DECK PAD（[SLOT/PAD 1, 2, 3, 4] ボタン）で使用することもできます（66 ページ）。

1 Serato DJ Pro の画面で、[SCRATCH BANK] パネルを表示する

2 [SHIFT] ボタンを押しながら [SAMPLER] ボタンを押す

SCRATCH BANK モードに切り替わります。

3 ロードしたいスクラッチバンクが設定されているスロットのパフォーマンスパッドを押す

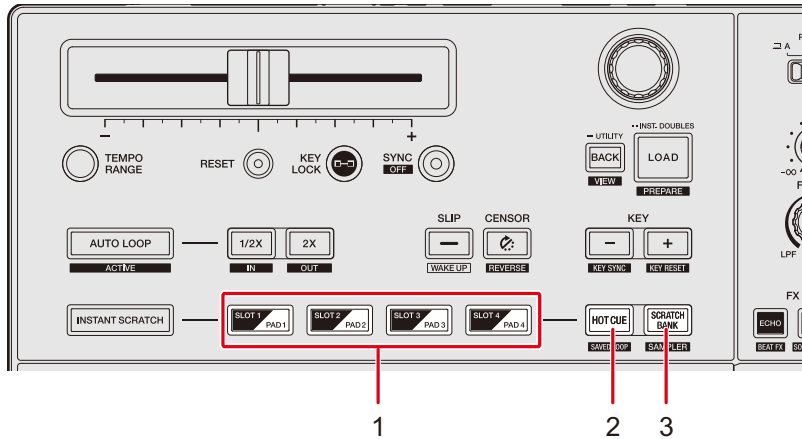
スクラッチバンクの音声がロードされます。

- 各スロットは以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

スロット1	スロット2	スロット3	スロット4
スロット5	スロット6	スロット7	スロット8

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、直前にロードされていた楽曲をロードします。

DECK PAD セクション



1. **SLOT/PAD 1, 2, 3, 4 ボタン**
2. **HOT CUE ボタン**
3. **SCRATCH BANK ボタン**

HOT CUE モード

デッキの **[SLOT/PAD 1, 2, 3, 4]** ボタンを押すと、ホットキューポイントを瞬時に呼び出し、再生を開始します。

- 設定できるホットキューは、1トラックにつき8個までです。
- HOT CUE モードは、パフォーマンスパッドで使用することもできます（54 ページ）。

1 **[HOT CUE]** ボタンを押す

HOT CUE モードに切り替わります。

2 再生中または一時停止中に、ホットキューポイントを設定したい位置でいずれかの **[SLOT/PAD]** ボタンを押す

ホットキューポイントが設定されます。

- ホットキューは、以下のように **[SLOT/PAD]** ボタンに割り当てられます。

ホットキュー-1	ホットキュー-2	ホットキュー-3	ホットキュー-4
----------	----------	----------	----------

3 ホットキューポイントが設定されているいずれかの [SLOT/PAD] ボタンを押す

ホットキューポイントから再生を開始します。

- [SHIFT] ボタンを押しながら [SLOT/PAD 1, 2, 3, 4] ボタンを押すと、設定されているホットキューポイントを削除します。

SCRATCH BANK モード

スクラッチバンクの音声をデッキにロードして使用します。

- SCRATCH BANK モードは、パフォーマンスパッドで使用することもできます (64 ページ)。

1 Serato DJ Pro の画面で、[SCRATCH BANK] パネルを表示する

2 [SCRATCH BANK] ボタンを押す

SCRATCH BANK モードに切り替わります。

3 ロードしたいスクラッチバンクが設定されているスロットの [SLOT/PAD] ボタンを押す

スクラッチバンクの音声がロードされます。

- 各スロットは以下のように [SLOT/PAD] ボタンに割り当てられています。



- [SHIFT] ボタンを押しながら [SLOT/PAD 1, 2, 3, 4] ボタンを押すと、直前にロードされていた楽曲をロードします。

SAVED LOOP モード

Serato DJ Proのループスロットにループを保存したり、保存したループを呼び出します。

- SAVED LOOPモードは、パフォーマンスパッドで使用することもできます（56 ページ）。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら [HOT CUE] ボタンを押す

SAVED LOOPモードに切り替わります。

2 ループ再生中に、いずれかの [SLOT/PAD] ボタンを押す

Serato DJ Proのループスロットにループが割り当てられます。



3 [SHIFT] ボタンを押しながら、ループが設定されているいずれかの [SLOT/PAD] ボタンを押す

ループの先頭から再生を開始します。

- もう一度同じ [SLOT/PAD] ボタンを押すと、ループ再生が解除されます。

SAMPLER モード

[**SLOT/PAD 1, 2, 3, 4**] ボタンを使って、サンプラーのサンプラーズロットにロードされたトラックの再生を開始します。

- SAMPLER モードは、パフォーマンスパッドで使用することもできます (57 ページ)。

1 **Serato DJ Pro** の画面で、[**SAMPLER**] パネルを表示する

2 本機で、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**SCRATCH BANK**] ボタンを押す

SAMPLER モードに切り替わります。

3 **Serato DJ Pro** の画面で、トラックを [**SAMPLER**] パネルの各スロットにドラッグアンドドロップしてロードする

サンプラーの設定とロードしたトラックが保存されます。

4 再生したいスロット (トラック) が設定されている [**SLOT/PAD**] ボタンを押す

スロット音声の再生を開始します。

- 各スロットは以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。



5 [**SAMPLER VOLUME**] ノブを回して、サンプラー音声の音量を調節する

- Serato DJ Pro のサンプラーのモードによって再生方法が異なります。詳細については、Serato DJ Pro のソフトウェアマニュアルを参照してください (7 ページ)。
- [**SHIFT**] ボタンを押しながら [**SLOT/PAD 1, 2, 3, 4**] ボタンを押すと、スロット音声の再生を停止します。

スリップ

スリップモードをオンにすると、以下の操作中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。

操作を終了するとスリップが解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。

機能	説明
スリップポーズ	再生中に [START/STOP] ボタンを押すと、一時停止中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップブレーキング	再生中に [START/STOP] ボタンを押すと、 [STOP TIME] ノブで指定されている速度（再生状態から停止するまでの速度）で停止します（48 ページ）。一時停止中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップスクラッチ	再生中にジョグの天面を操作してスクラッチすると、スクラッチ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップループ	ループ再生を開始すると（51 ページ）、ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップリバース	再生中に [CENSOR ] ボタンを押すと逆再生します（46 ページ）。逆再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップホットキュー	再生中にホットキューが設定されているいずれかのパフォーマンスパッド（54 ページ）または [SLOT / PAD] ボタン（65 ページ）を押すと、ホットキューポイントに戻り、ボタンを押している間再生を続けます。ホットキュー再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

スリップモードを設定する

1 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードがオンになり、[SLIP] ボタンが点灯します。

- スリップ動作中は [SLIP] ボタンが点滅します。
- もう一度 [SLIP] ボタンを押す、またはトラックをロードするとスリップモードがオフになります。

INSTANT SCRATCH

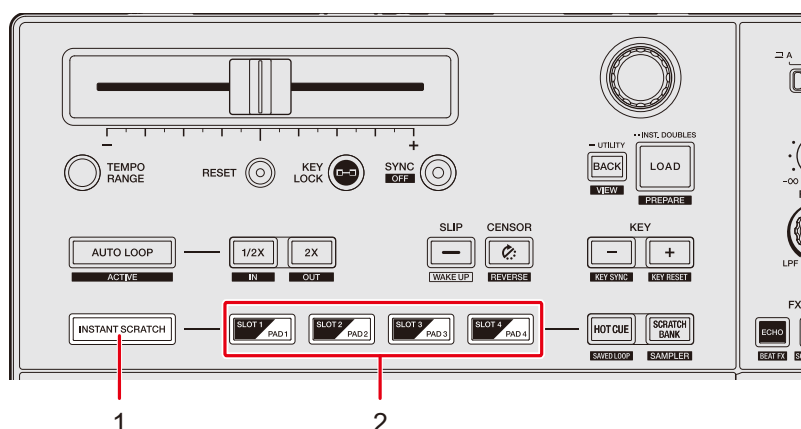
本機は4つのスクラッチ音源を搭載しています。

[**SLOT/PAD 1, 2, 3, 4**] ボタンで、これらの音源を瞬時に呼び出すことができます。

• INSTANT SCRATCHモード使用時は、以下の機能は動作や設定が固定されます。

- TEMPO RANGE : $\pm 8\%$
- KEY LOCK : オフ
- SYNC : オフ
- SLIP : オフ
- CENSOR : オフ
- REVERSE : オフ
- LOOP : ループ再生
- キー : オリジナルのキー
- パフォーマンスパッド : FX TRIGGER モード
- DECK PAD のモード : 使用不可
- SILENT CUE : オフ
- SMOOTH ECHO : オフ

INSTANT SCRATCH セクション



1. INSTANT SCRATCH ボタン

INSTANT SCRATCHモードをオン／オフします。オンになるとボタンが点灯します。

2. SLOT/PAD 1, 2, 3, 4 ボタン

INSTANT SCRATCH を使う

1 入力切替えスイッチを [A, B] に設定する

2 [INSTANT SCRATCH] ボタンを押す

INSTANT SCRATCH モードに切り替わります。

3 いずれかの [SLOT/PAD] ボタンを押す

デッキにスクラッチ音源がロードされます。

4 [START/STOP] ボタンを押す

スクラッチ音源のループ再生を開始します。

- ボタンを押したデッキですでに再生中の場合は、手順3で [SLOT/PAD] ボタンを押してスクラッチ音源をロードするとループ再生を開始します。
 - スクラッチ音源を変更するには、ほかの [SLOT/PAD] ボタンを押します。
- もう一度 [INSTANT SCRATCH] ボタンを押すと、INSTANT SCRATCH モードがオフになります。

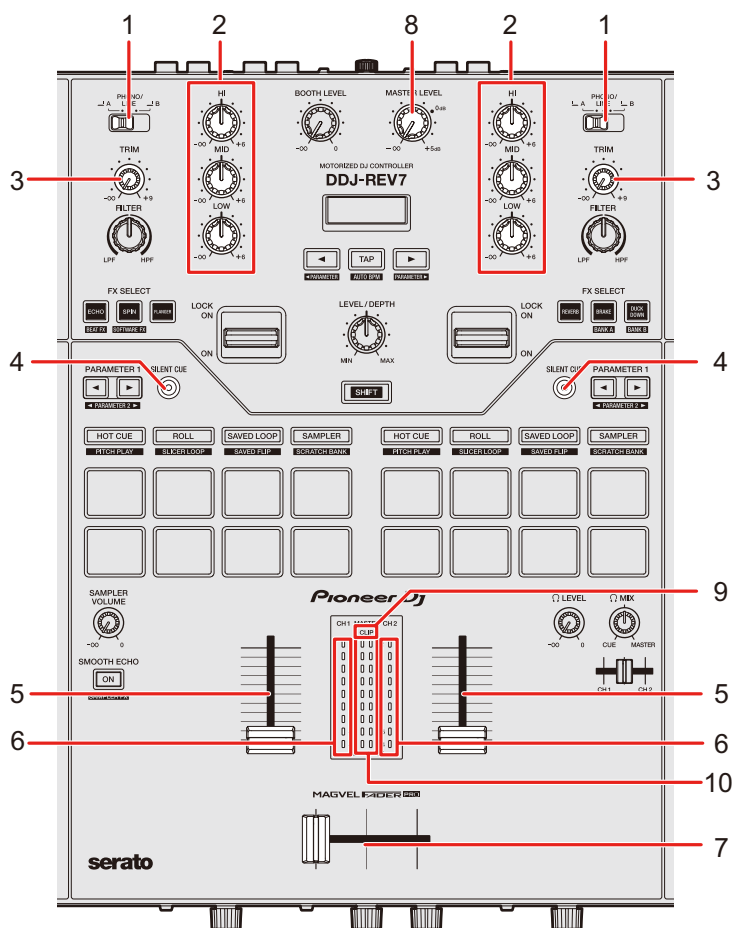
音声出力

以下の操作を行って、音声を出力します。

- －「音声を出力する」(75 ページ)
- －「チャンネル音声の音質を調整する」(76 ページ)
- －「フェーダーを設定する」(76 ページ)

■ [BOOTH] 端子から音声を出力する方法については、「ブースモニターを使う」(80 ページ) を参照してください。

チャンネルセクション／マスターセクション



❖ チャンネルセクション

1. 入力切替えスイッチ

入力音声を選択します。

- **[A, B]** : **[USB]** 端子に接続している PC / Mac
- **[PHONO/LINE]** : **[CH1]**、**[CH2]** 端子に接続しているターンテーブルやDJプレーヤーなど

2. HI, MID, LOW ノブ

各音域の音質 (ISO) を調整します。

各ノブで調整できる音域は以下のとおりです。

- **[HI]** : $-\infty$ dB ~ +6 dB
- **[MID]** : $-\infty$ dB ~ +6 dB
- **[LOW]** : $-\infty$ dB ~ +6 dB

3. TRIM ノブ

チャンネルの入力音声の音量を調整します。

4. SILENT CUE ボタン

デッキで再生中のトラックの音声をミュートします。

5. チャンネルフェーダー

[CH 1 CURVE]、**[CH 2 CURVE]** ノブで指定されているカーブ特性 (77 ページ) にしたがって、音声を出力します。奥側へスライドすると音量が上がり、手前へスライドすると音量が下がります。

6. チャンネルレベルインジケーター

チャンネルフェーダー通過前の音量を表示します。

7. クロスフェーダー

CROSSFADER セクションの **[CURVE]** ノブで指定されているカーブ特性 (78 ページ) にしたがって、音声を出力します。DECK 1 (左) 側へスライドすると DECK 1 の音声を、DECK 2 (右) 側へスライドすると DECK 2 の音声を出力します。

❖ マスターセクション

8. MASTER LEVEL ノブ

マスター音声の音量を調整します。

9. CLIP インジケーター

[MASTER 1]、**[MASTER 2]** 端子から過大音量が出力されたときに点滅します。

10. マスターレベルインジケーター

[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子に出力するマスター音声の音量を表示します。

音声を出力する

チャンネル入力音量を調整する

- 1 入力切替えスイッチで入力音声を選択する
- 2 [TRIM] ノブを回して、入力音声の音量を調整する

音声が入力されると、チャンネルレベルインジケーターが点灯します。

チャンネル出力音量を調整する

- 1 チャンネルフェーダーを動かして、出力音声の音量を調整する
- 2 クロスフェーダーを動かして、出力音声を調整する

- [SILENT CUE] ボタンを押すと、デッキで再生中のトラックの音声をミュートできます。もう一度押すと、ミュートを解除します。ミュート中にホットキューを実行するとミュートが解除されます。

マスター音量を調整する

- 1 [MASTER LEVEL] ノブを回して、マスター音声の音量を調整する

マスター音声が出力されると、マスターレベルインジケーターが点灯します。

- PC／Macのスピーカーから音声を出力する場合は、PC／Macのスピーカーの音量を調節してください。

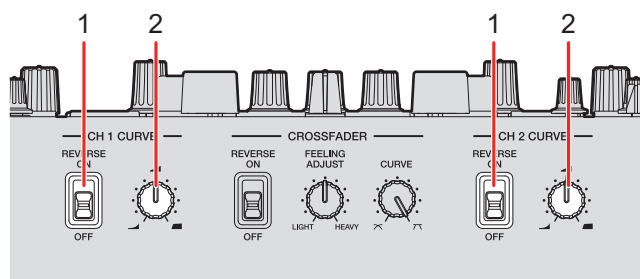
チャンネル音声の音質を調整する

- 1 [HI、MID、LOW] ノブを回して、各音域の音質を調整する

フェーダーを設定する

チャンネルフェーダーとクロスフェーダーを設定します。

CH CURVE セクション



1. REVERSE スイッチ

チャンネルフェーダーリバーブ機能のオン／オフを切り替えます。

2. CH 1/2 CURVE ノブ

チャンネルフェーダーカーブを設定します。

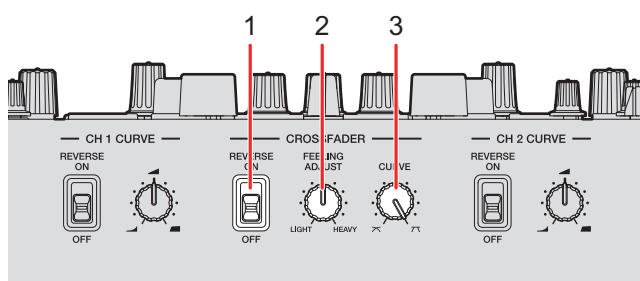
- : 奥側で急峻に音が立ち上がります。
- : 奥側にスライドすると、徐々に音が立ち上がります。
- : 手前で急峻に音が立ち上がります。

チャンネルフェーダーを設定する

1 [CH 1/2 CURVE] ノブを回して、チャンネルフェーダーカーブを設定する

- [REVERSE] スイッチを [ON] に設定すると、チャンネルフェーダーの操作方向が逆になります。

CROSSFADER セクション



1. REVERSE スイッチ

クロスフェーダーリバー機能のオン／オフを切り替えます。

2. FEELING ADJUST ノブ

クロスフェーダーの負荷を調整します。

3. CURVE ノブ

クロスフェーダーカーブを設定します。

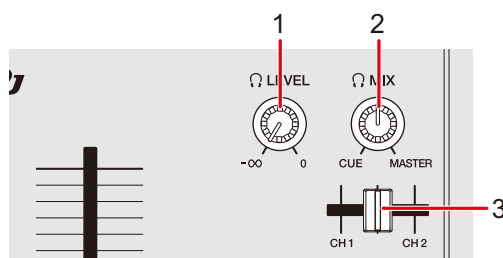
-  : クロスフェーダーを一方 (CH 1側またはCH 2側) からスライドすると、もう一方に割り当てられている音が徐々に立ち上がります。
-  : クロスフェーダーを一方 (CH 1側またはCH 2側) からスライドすると、もう一方に割り当てられている音が急峻に立ち上がります。

クロスフェーダーを設定する

- 1 **[CURVE]** ノブを回して、クロスフェーダーカーブを設定する
 - 2 **[FEELING ADJUST]** ノブを回して、クロスフェーダーの負荷を調整する
- **[REVERSE]** スイッチを **[ON]** に設定すると、クロスフェーダーの操作方向が逆になります。

音声モニター

ヘッドホンセクション



1. **LEVEL** ノブ

ヘッドホンから出力する音量を調整します。

2. **MIX** ノブ

ヘッドホンCUE フェーダーで選択しているチャンネルの音声と、マスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

- チャンネルの音声のみをモニターしたいときは **[CUE]** に、マスターチャンネルの音声のみをモニターしたいときは **[MASTER]** に合わせてください。

3. **ヘッドホンCUE フェーダー**

ヘッドホンから出力するCH 1 とCH 2 の音声の割合を調整します。

ヘッドホンで音声をモニターする

1 **[PHONES]** 端子にヘッドホンを接続する

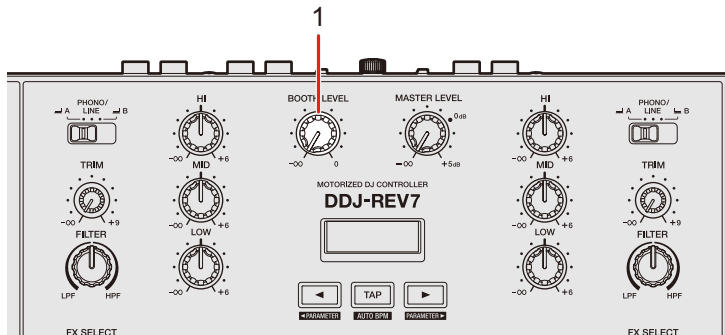
「本体フロント部」(14 ページ)

2 **MIX** ノブを回して、チャンネルとマスター音声の音量バランスを調整する

3 ヘッドフォン**CUE** フェーダーを動かして、**CH 1**と**CH 2**の音声の割合を調整する

4 [LEVEL] ノブを回して、音量を調整する

ブースセクション



1. BOOTH LEVEL ノブ

ブースモニター音声の音量を調整します。

ブースモニターを使う

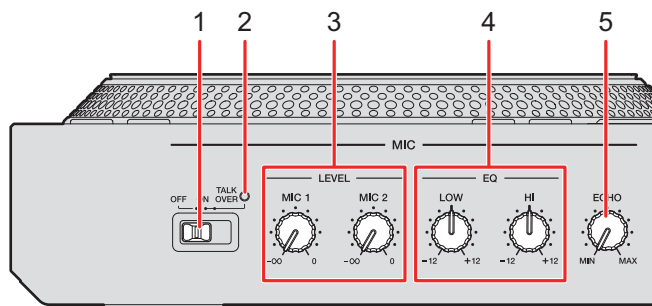
1 [BOOTH] 端子にブースモニター用の機器を接続する

■ 「本体リア部」 (14 ページ)

2 [BOOTH LEVEL] ノブを回して、出力音声の音量を調整する

マイク

MIC セクション



1. OFF, ON, TALKOVER 切替えスイッチ

マイク音声の出力を設定します。

- [OFF] : マイクをオフにします。
- [ON] : マイクをオンにします。
- [TALKOVER] : マイクを TALKOVER モードにします。マイクに -10 dB 以上の音声が入力されると、マイクチャンネル以外の音量が -18 dB 減衰します。

- TALKOVER モードと音声減衰レベルは、UTILITY 設定の [TALKOVER MODE] と [TALKOVER LEVEL] で変更できます (103 ページ)。

2. マイクインジケータ

[OFF, ON, TALKOVER] 切替えスイッチの設定を以下のように示します。

- 消灯 : [OFF] に設定されています。
- 点灯 : [ON] に設定されています。
- 点滅 : [TALKOVER] に設定されています。

3. LEVEL (MIC 1, MIC 2) ノブ

[MIC 1]、[MIC 2] 端子から入力する音量を調整します。

4. EQ (HI, LOW) ノブ

[MIC 1]、[MIC 2] 端子から入力する音声の音質を調整します。

各ノブで調整できる音域は以下のとおりです。

- [HI] : -12 dB ~ +12 dB (10 kHz)

— [LOW] : -12 dB ~ +12 dB (100 kHz)

5. ECHO ノブ

マイク音声にかけるエコーを調整します。

マイクを使う

1 [MIC 1] または [MIC 2] 端子にマイクを接続する

- お使いのマイクによって入力音声の増幅量（ゲイン）は異なります。DJ プレイ開始前に本体リア部の [ATT.] ノブで、お使いのマイクに合わせて音声レベルを調整してください。

📖 「本体リア部」(14 ページ)

2 [OFF, ON, TALKOVER] 切替えスイッチで、マイク音声の出力を設定する

3 [LEVEL (MIC 1, MIC 2)] ノブを回して、マイク音声の音量を調整する

- 右に回しすぎると、大音量で出力されます。ご注意ください。

4 [EQ (HI, LOW)] ノブを回して、各音域の音質を調整する

5 マイクに音声を入力する

マイクエコーを使う

1 [ECHO] ノブを回す

マイク音声にエコーがかかります。

外部入力

本機の外部入力にDJプレーヤーやターンテーブルを接続すると、PC／Macを使用せずに外部入力の音声をミックスできます。

外部入力の音声をミックスする

1 [CH 1] または [CH 2] 端子に外部機器を接続する

■ 「本体リア部」(14 ページ)、「入力端子に接続する」(35 ページ)

2 [LINE／PHONO] 切替えスイッチを [LINE] または [PHONO] に設定する

- DJプレーヤーやラインレベルの出力機器を接続した場合は、[LINE] に設定します。
- ターンテーブルやフォノレベル (MM カートリッジ用) の出力機器を接続した場合は [PHONO] に設定します。

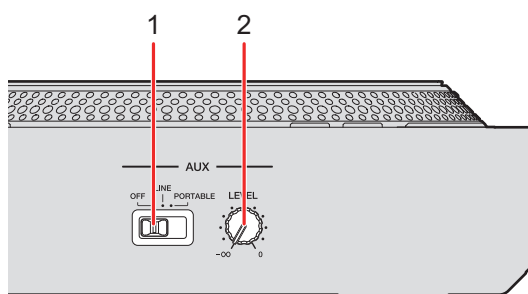
3 入力切替えスイッチを [PHONO／LINE] に設定する

4 [TRIM] ノブを回して、入力音声の音量を調整する

5 チャンネルフェーダーを動かして、出力音声の音量を調整する

AUX を使う

AUX セクション



1. AUX (OFF, LINE, PORTABLE) スイッチ

- [OFF] : AUX を使用しません (入力音声をミュートします)。
- [LINE] : ポータブル機器以外を使用します。
- [PORTABLE] : ポータブル機器を使用します。

2. LEVEL ノブ

AUX チャンネルの入力音声の音量を調整します。

AUX を使う

1 [AUX] 端子に外部機器を接続する

- 「本体リア部」 (14 ページ)、「入力端子に接続する」 (35 ページ)

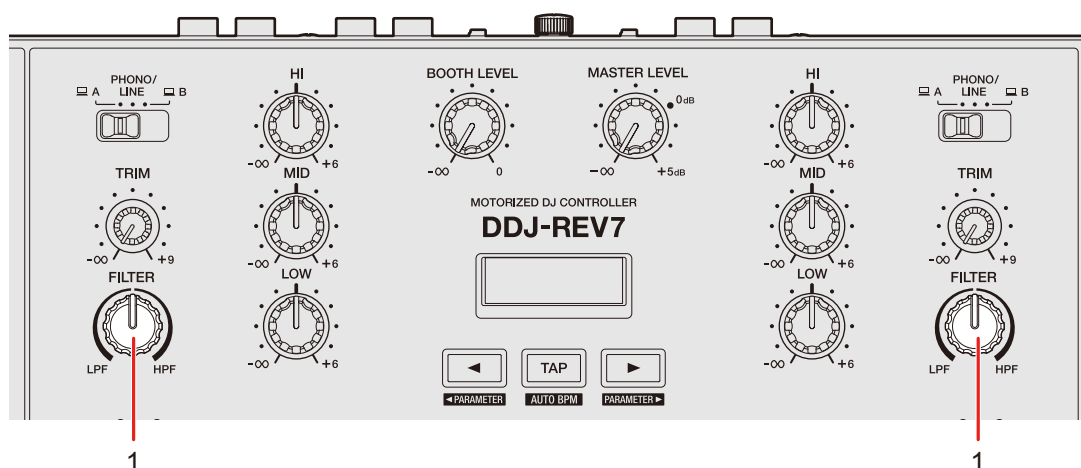
2 [AUX (OFF, LINE, PORTABLE)] スイッチで、使用する外部機器を選択する

3 [LEVEL] ノブを回して、入力音量を調整する

FILTER

FILTERやその他のエフェクトを加えます。

FILTER セクション



1. FILTER ノブ

FILTERやその他のエフェクトを調整します。

FILTERやその他のエフェクトを使う

[FILTER] ノブで操作するエフェクトの種類を変更できます。設定ユーティリティの [FX BANK] タブで、[FILTER] のプルダウンリストから操作したいエフェクトを選択してください (29 ページ)。

エフェクトの種類と設定方法

ノブの操作や、設定ユーティリティの **[FX BANK]** タブで下記の内容を設定できます。

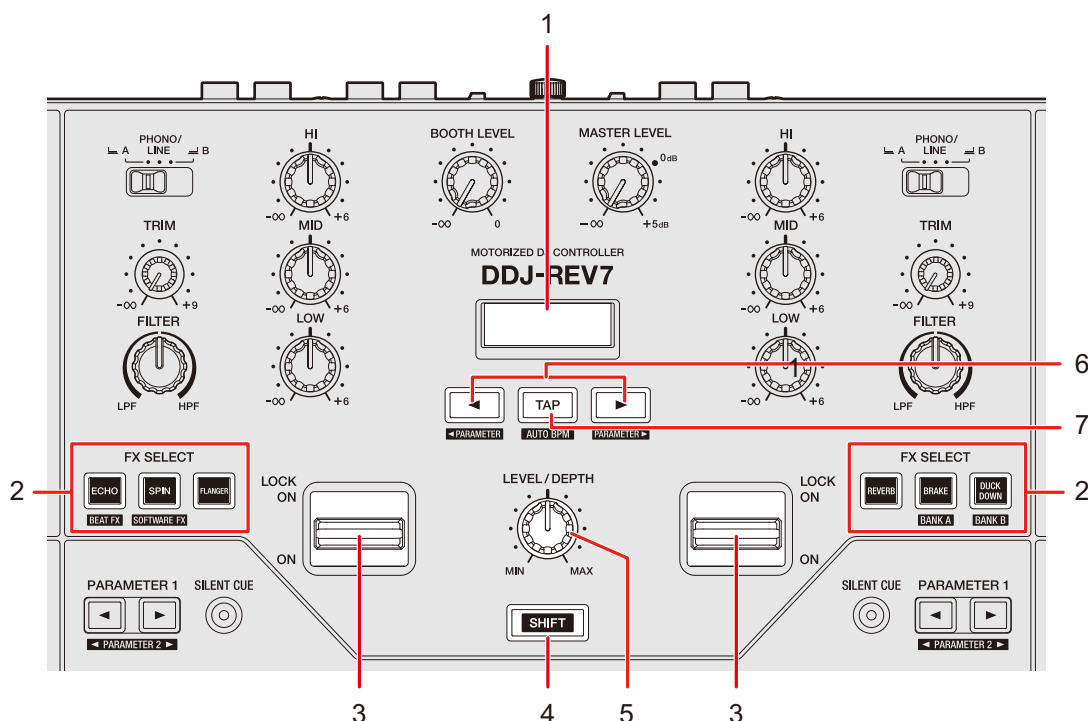
エフェクト／操作	説明
FILTER	フィルターを通した音声を出力します。
• FILTER:	左に回す：ローパスフィルターのカットオフ周波数を下げます。 右に回す：ハイパスフィルターのカットオフ周波数を上げます。
• サブパラメーター:	レゾナンス
DUB ECHO	ディレイ音を減衰させながら数回出力して、反響効果を加えます。
• FILTER:	左に回す：中音域に反響効果を加えます。 右に回す：高音域に反響効果を加えます。
• サブパラメーター:	フィードバック
NOISE	フィルターに通したホワイトノイズを、チャンネルの音声とミックスして出力します。
• FILTER:	左に回す：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数を下げます。 右に回す：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数を上げます。
• サブパラメーター:	ノイズの音量
PITCH	音程を変化させます。
• FILTER:	左に回す：音程を下げます。 右に回す：音程を上げます。
• サブパラメーター:	ピッチの変化範囲：±1 半音～±2 オクターブ

エフェクト／操作	説明
WIDE FILTER	フィルターを通した音声を出力します。
FILTER:	左に回す：ローパスフィルターのカットオフ周波数を下げます。 右に回す：ハイパスフィルターのカットオフ周波数を上げます。 左または右に回しきる：音声を完全にカットします。
サブパラメーター:	レゾナンス

Beat FX / ソフトウェア FX

本機はエフェクト用のボタンを6個搭載しており、それぞれのボタンにお好みの内蔵エフェクト（Beat FX）やDJソフトウェアのエフェクトを設定できます。

FX セクション



1. エフェクト部ディスプレイ

エフェクト名、BPM、パラメーターなどを表示します。

2. FX SELECT ボタン

内蔵エフェクト（Beat FX）やDJ ソフトウェアのエフェクトを選択します。

3. エフェクトレバー

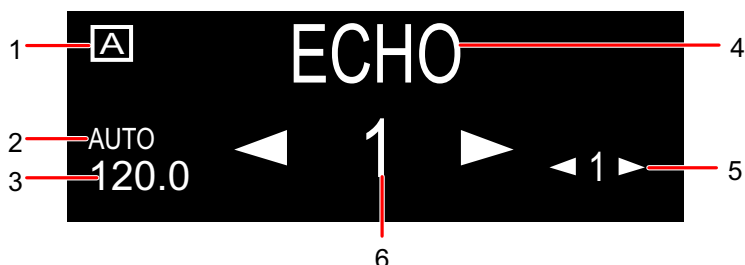
エフェクトを加えます。

- **[ON]**：エフェクトレバーを **[ON]** の位置に合わせている間、エフェクトがかかります。レバーを離すと中央の位置に戻り、エフェクトがオフになります。

- **[LOCK ON]** : **[LOCK ON]** の位置に合わせている間、エフェクトがかかります。
エフェクトをオフにするには、レバーを中央の位置に戻してください。

4. **SHIFT ボタン** (53 ページ)
5. **LEVEL/DEPTH ノブ**
エフェクトの量的パラメーターを調整します。
6. **◀ / ▶ ボタン**
エフェクトの拍数を設定します。
7. **TAP ボタン**
BPM を設定します。

エフェクト部ディスプレイ



1. **FX BANK 表示**
FX BANK を選択しているときに、選択している BANK を表示します。
2. **AUTO / TAP 表示**
BPM が自動測定モードのときは **[AUTO]** が、手動入力モードのときは **[TAP]** が表示されます。
3. **BPM 表示**
 - 自動測定モードで BPM を検出できないときは、BPM 値が点滅します。
4. **エフェクト名**
選択しているエフェクトを表示します。
5. **サブパラメーター**
Beat FX のサブパラメーターを表示します。
6. **ビート / パラメーター**
拍数を表示します。
エフェクトによっては、**[◀]** / **[▶]** ボタンを押すと、パラメーターを表示します。

Beat FX／ソフトウェアFXを使用する

■ 「Beat FXの種類と設定方法」(91 ページ)

1 [SHIFT] ボタンを押しながら [ECHO] ボタンまたは [SPIN] ボタンを押す

- BEAT FXを使用するには、[SHIFT] ボタンを押しながら [ECHO] ボタンを押します。
- ソフトウェア FX を使用するには、[SHIFT] ボタンを押しながら [SPIN] ボタンを押します。

2 使用したいエフェクトがアサインされている [FX SELECT] ボタンを押す

- ソフトウェアFXが割り当てられた複数の [FX SELECT] ボタンを同時に押すと、複数のソフトウェアFXを選択できます。
- 内蔵エフェクト (Beat FXのうち1種類) とソフトウェアFX (5種類) を選択して、複数のエフェクト (最大6種類) を同時に加えることができます。
- [FX SELECT] ボタンにアサインされているエフェクトを変更できます (29 ページ)。

3 [TAP] ボタンで、BPMを設定する

- [TAP] ボタンを押すと、手動でBPMを設定できます。
- [SHIFT] ボタンを押しながら [TAP] ボタンを押すと、自動でBPMを取得します。

4 [◀] または [▶] ボタンを押して、エフェクトを同期させる拍数の倍率を設定する

5 [LEVEL/DEPTH] ノブを回して、エフェクトを調整する

- 左に回しきると、原音が出力されます。

6 エフェクトレバーを [ON] または [LOCK ON] に合わせる

エフェクトレバーを操作したチャンネルの音声に、選択したエフェクトを加えます。

Beat FX の種類と設定方法

ボタンやノブの操作、設定ユーティリティの [FX BANK] タブで下記の内容を設定できます。

- [SHIFT] ボタンを押しながら [◀]、[▶] ボタンを押して、サブパラメーターを調整できます。

Beat FX / 操作	説明
ECHO ¹ • ◀/▶: BPM の 1 拍に対してのディレイタイム (倍率): 1/32 ~ 16 拍 • LEVEL/DEPTH: 原音とエフェクト音のバランスとフィードバック • サブパラメーター: HPF のカットオフ周波数: 1 ~ 9	拍に合わせて、ディレイ音を減衰させながら数回出力します。
TIME SWEEP ECHO ¹ • ◀/▶: BPM の 1 拍に対してのディレイタイム (倍率): 1/32 ~ 16 拍 • LEVEL/DEPTH: 原音とエフェクト音のバランスとフィードバック • サブパラメーター: RATE: 1 ~ 9	ディレイタイムが、拍数で指定した時間まで増加するエコー音を出力します。
DUCKING ECHO ¹ • ◀/▶: BPM の 1 拍に対してのディレイタイム (倍率): 1/32 ~ 16 拍 • LEVEL/DEPTH: 原音とエフェクト音のバランスとフィードバック • サブパラメーター: HPF のカットオフ周波数: 1 ~ 9	クロスフェーダーまたはチャンネルフェーダーの操作によって無音になったときに、ディレイ音を減衰させながら数回出力します。

Beat FX / 操作	説明
ECHO OUT ¹ ◀ / ▶: BPM の 1 拍に対してのディレイタイム (倍率): 1/32 ~ 16 拍 - LEVEL/DEPTH: 原音とエフェクト音のバランスとフィードバック - サブパラメーター: HPF のカットオフ周波数: 1 ~ 9	入力音を無音にし、ディレイ音を減衰させながら数回出力します。
FILL OUT ¹ ◀ / ▶: FILL 音: 1 ~ 7, R (ランダム) - LEVEL/DEPTH: 原音とエフェクト音のバランスとミュート量 - サブパラメーター: FILL 音の出力拍数: 1、2、4	FILL 音 (リズム変化を付けた ROLL 音) を出力したあとに、入力音を無音にし、ディレイ音を減衰させながら数回出力します。
SPIRAL ¹ ◀ / ▶: BPM の 1 拍に対してのディレイタイム (倍率): 1/16 ~ 16 拍 - LEVEL/DEPTH: 原音とエフェクト音のバランスとフィードバック - サブパラメーター: スピード: 1 ~ 9	入力音に残響効果を加えます。
HELIX ◀ / ▶: BPM の 1 拍に対してのエフェクト時間 (倍率): 1/16 ~ 16 拍 - LEVEL/DEPTH: 音を重ねる割合 [LEVEL/DEPTH] ノブを左に回し切ってから右に回すと、減衰率も変化させることができます。右に回し切ると、出力音が固定されます。 - サブパラメーター: スピード: 1 ~ 9	入力音を記録し、記録した音を設定した時間的パラメーターに合わせて繰り返し出力します。

Beat FX / 操作	説明
HELIX OUT	入力音を記録し、記録した音の再生速度とピッチを上げながら残響のように繰り返し出力します。
• ◀/▶: • LEVEL/DEPTH: • サブパラメーター:	BPM の 1 拍に対してのエフェクト時間 (倍率): 1/16 ~ 2 拍 音を重ねる割合 • [LEVEL/DEPTH] ノブを左に回し切ってから右に回すと、減衰率も変化させることができます。右に回し切ると、出力音が固定されます。 フェードアウト時間: 1 ~ 9
DELAY ¹	拍に合わせて、ディレイ音を 1 回出力します。
• ◀/▶: • LEVEL/DEPTH: • サブパラメーター:	BPM の 1 拍に対してのディレイタイム (倍率): 1/32 ~ 4 拍 原音とエフェクト音のバランス スウィング: 1 ~ 9
REVERB ¹	入力音に残響効果を加えます。
• ◀/▶: • LEVEL/DEPTH: • サブパラメーター:	残響エフェクトの度合い: 1~100% 原音とエフェクト音のバランス HPF のカットオフ周波数: 1 ~ 9
ONE-SHOT SPIN	再生中の入力音を高速で逆回転させたような効果を加えます。
• ◀/▶: • LEVEL/DEPTH: • サブパラメーター:	BPM の 1 拍に対しての逆回転の再生時間 (倍率): 1/16 拍 ~ 64 拍 原音とエフェクト音のバランスと再生速度の変化量 ブレイク速度: 1 ~ 9

Beat FX / 操作	説明
ONE-SHOT BRAKE	入力音の再生速度が徐々に遅くなり、再生がストップします。
• ◀/▶:	BPM の 1 拍に対してのエフェクト時間（倍率）：1/16~64 拍
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランスと再生速度の変化量
• サブパラメーター:	スピン速度：1 ~ 9
DUCK DOWN	音程を下げながら、フェードアウトする ROLL 音を出力します。
• ◀/▶:	BPM の 1 拍に対してのエフェクト時間（倍率）：1/16~2 拍、R（ランダム）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランスとミュート量
• サブパラメーター:	フェードアウト時間：1 ~ 9
FLANGER	拍に合わせて、周期的なフランジャー効果を加えます。
• ◀/▶:	BPM の 1 拍に対するエフェクト移動周期（倍率）：1/16~64 拍
• LEVEL/DEPTH:	エフェクトの度合い
• サブパラメーター:	フランジャー効果の深さ：1 ~ 9
PHASER	拍に合わせて、周期的なフェイザー効果を加えます。
• ◀/▶:	BPM の 1 拍に対するエフェクト移動周期（倍率）：1/16~64 拍
• LEVEL/DEPTH:	エフェクトの度合い
• サブパラメーター:	フェイザー効果の深さ：1 ~ 9

Beat FX / 操作	説明
HP FILTER	拍に合わせて、周期的にハイパスフィルターのカットオフ周波数が変化します。
• ◀ / ▶: • LEVEL/DEPTH: • サブパラメーター:	BPM の 1 拍に対するエフェクト移動周期 (倍率): 1/16~64 拍 エフェクトの度合い エフェクト効果を細かく揺らす周期: 1 ~ 9
LP FILTER	拍に合わせて、周期的にローパスフィルターのカットオフ周波数が変化します。
• ◀ / ▶: • LEVEL/DEPTH: • サブパラメーター:	BPM の 1 拍に対するエフェクト移動周期 (倍率): 1/16~64 拍 エフェクトの度合い エフェクト効果を細かく揺らす周期: 1 ~ 9
TRANS	拍に合わせて、音声を周期的にカットします。
• ◀ / ▶: • LEVEL/DEPTH: • サブパラメーター:	BPM の 1 拍に対してのカットする周期 (倍率): 1/16~16 拍 原音とエフェクト音のバランスとデューティ デューティ: 1 ~ 9
ROLL	エフェクトをオンにしたときの入力音を記録し、記録した音を設定した拍の倍率に合わせて繰り返し出力します。
• ◀ / ▶: • LEVEL/DEPTH: • サブパラメーター:	BPM の 1 拍に対してのエフェクト時間 (倍率): 1/16~16 拍 原音とエフェクト音のバランスとミュート量 ミュート量: 1 ~ 9

Beat FX / 操作	説明
FADER SYNTH (SINE/SAW/SQUARE) ^②	基底発振周波数の音源として SYNTH 音を出力します。
• ◀ / ▶:	基底発振周波数の段階: -3 ~ +3
• LEVEL/DEPTH:	エフェクトの音量
• サブパラメーター:	スケール: 1 ~ 9 (AUTO SCALE、MAJOR、MINOR、MINOR H、JAPANESE、CHINESE、HAWAIIAN、RYUKYU、2OCT ANALOG)

^① エフェクト音はモニターできません。

^② エフェクトをオンにしているときは、チャンネルフェーダーで音量調整できません。

FX BANK を使う

[FILTER] ノブや [FX SELECT] ボタンなどにアサインされているエフェクトの設定を FX Bank として保存したり、保存した FX Bank をロードできます。

❖ 操作制限について

本機に PC / Mac が 2 台接続されているときは、以下の操作が制限されます。

- FX Bank をロードできません。
- [FX SELECT] ボタンを押しながらロータリーセレクターを回しても、エフェクトの種類を変更できません。
- Beat FX がデフォルト設定 ([FX SELECT] ボタン上に表示されているエフェクト) に戻ります。

以下の状態のときは、上記の制限はかかりません。

- [CH 1] と [CH 2] 両方の入力切替えスイッチで [A] が選択されているとき
- [CH 1] と [CH 2] 両方の入力切替えスイッチで [B] が選択されているとき

FX BANK を設定する

FX Bank は 2 つまで設定できます。設定ユーティリティで設定します。

🔧 「エフェクトのアサインを変更する」 (29 ページ)

FX Bank をロードする

本機のボタン操作でロードできます。

- 1 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、**[BRAKE]** または **[DUCK DOWN]** ボタンを押す
 - **[BRAKE]** : Bank A をロードします。
 - **[DUCK DOWN]** : Bank B をロードします。
 - DJ ソフトウェアで Bank が設定されている場合は、ソフトウェア FX もロードされます。

FX TRIGGER モードを使う

FX TRIGGER モードを使うと、本機を PC/Mac に接続していないときや INSTANT SCRATCH を使用しているときでも、パフォーマンスパッドを使って Beat FX を加えることができます。それぞれのパフォーマンスパッドにあらかじめパラメーターの値が設定されており、パフォーマンスパッドを押すだけでエフェクトを加えることができます。

- FX TRIGGER モードは、Beat FX を選択しているときに使用できます。

1 入力切替えスイッチを [PHONO/LINE] に設定する、または [INSTANT SCRATCH] をオンにする

☞ 「INSTANT SCRATCH を使う」 (72 ページ)

2 パフォーマンスパッドを押す

パッドを押している間、パッドに割り当てられている拍数の Beat FX がかけられます。

例：[ECHO] が選択されているとき

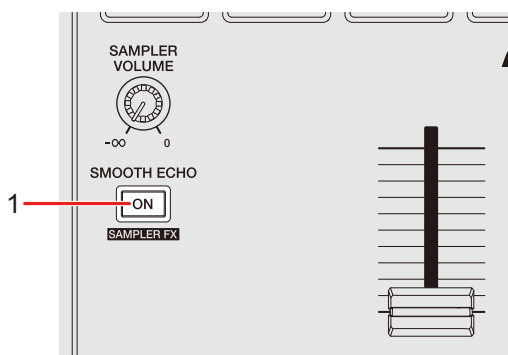
PAD 1 1/32 拍	PAD 2 1/16 拍	PAD 3 1/8 拍	PAD 4 1/4 拍
PAD 5 1/3 拍	PAD 6 1/2 拍	PAD 7 3/4 拍	PAD 8 1 拍

- パフォーマンスパッドを離すと、Beat FX が停止します。

SMOOTH ECHO

SMOOTH ECHO を使うと、簡単な操作で、再生中の音声にエコーを加えることができます。

SMOOTH ECHO セクション



1. SMOOTH ECHO ON ボタン

SMOOTH ECHO のオン／オフを切り替えます。

SMOOTH ECHO を使う

1 [BACK] ボタンを長押しする

ON JOG DISPLAY に設定画面が表示されます。

☛ 「設定を変更する」 (101 ページ)

2 [SMOOTH ECHO] の [TRIGGER] で、エコーを加える操作を選択する

☛ 「UTILITY 設定項目」 (102 ページ)

3 **[SMOOTH ECHO]** の **[BEATS]** と **[LEVEL]** でパラメーターを設定する

4 **[SMOOTH ECHO ON]** ボタンを押して、**SMOOTH ECHO** をオンにする

SMOOTH ECHO がオンになるとボタンが点灯します。

5 エコーを加える操作を実行する

拍に合わせて、ディレイ音を減衰させながら数回出力します。

- **[BACK]** ボタンを押すと、設定画面を閉じます。
SMOOTH ECHO 設定中は、**[BACK]** ボタンを押すと、最上位階層に戻ってから設定画面を閉じます。
- SMOOTH ECHO は INSTANT SCRATCH と同時に使用できません。INSTANT SCRATCH をオンにすると SMOOTH ECHO はオフになります。

設定

設定を変更する

1 [BACK] ボタンを長押しする

ON JOG DISPLAY に設定画面が表示されます。

2 ロータリーセクターを回して、設定項目を選択する

3 ロータリーセクターを押して、設定項目を決定する

設定値変更画面が表示されます。

4 ロータリーセクターを回して、設定値を選択する

5 ロータリーセクターを押して、設定値を決定する

設定値が決定され上位階層に戻ります。

- [BACK] ボタンを押すと、設定の変更はキャンセルされます。

6 [BACK] ボタンを押す

設定画面が閉じます。

- 設定値変更中に [BACK] ボタンを押すと、最上位階層に戻ってから設定画面を閉じます。

UTILITY 設定項目

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
SMOOTH ECHO	
TRIGGER	CROSSFADER クロスフェーダーを反対に動かして無音にしたときにエコーを加えるかどうかを設定します。 ・ 設定値：ON*、OFF
	CH FADER チャンネルフェーダーを使って無音にしたときにエコーを加えるかどうかを設定します。 ・ 設定値：ON*、OFF
	HOT CUE ホットキューを実行したときにエコーを加えるかどうかを設定します。 ・ 設定値：ON、OFF*
	SILENT CUE サイレントキューを実行したときにエコーを加えるかどうかを設定します。 ・ 設定値：ON*、OFF
	LOAD 楽曲のロードを実行したときにエコーを加えるかどうかを設定します。 ・ 設定値：ON*、OFF
BEATS	BEATS エコーの拍数を設定します。 ・ 設定値：1/8 拍、1/4 拍*、1/2 拍、1 拍、2 拍、4 拍、8 拍
	NUMBER OF BEATS TO TRIGGER (BY CROSSFADER) エコーを加えるまでの拍数を選択します。 ・ 設定値：0*、1/2、1、2、4
LEVEL	エコーの音量を調節します。 ・ 設定値：0～17、18*、19～36
MIC ECHO BEATS	エコーの拍数を設定します。 ・ 設定値：1/8 拍、1/4 拍、1/2 拍、3/4 拍、1 拍*、2 拍、4 拍、8 拍

設定項目	説明
POWER MANAGEMENT	パワーマネジメント機能を設定します（105 ページ）。 設定値：OFF、ON*
DEMO/S.SAVER	デモモードを開始するまでの時間とスクリーンセーバーを設定します。 - 設定値：DISABLE、DEMO 1min、DEMO 5min、DEMO 10min*、S.SAVER [S.SAVER] は、30 分間操作がないときに、スクリーンセーバーを開始します。
MOTOR TORQUE	モータートルクを設定します。 設定値：LOW、HI*
TALKOVER MODE	マイクトークオーバーのモードを設定します（106 ページ）。 設定値：ADVANCED*、NORMAL
TALKOVER LEVEL	マイクトークオーバーのレベルを設定します。 設定値：-6dB、-12dB、-18dB*、-24dB
MIC LOW CUT	マイクのローカットフィルターを設定します。 設定値：OFF、ON*
PHONES OUT	[PHONES] 端子の出力音声（MONO SPLIT / ステレオ）を設定します。 設定値：STEREO*、MONO SPLIT
MIC TO BOOTH	ブース出力音声にマイク音声をミックスするかどうかを設定します。 設定値：OFF、ON*
MIC LMT (MSTR)	マスター出力音声に入力するマイク音声のリミッターを使用するかどうかを設定します。 設定値：OFF、ON*

設定項目	説明
MIC LMT (BOOTH)	[BOOTH] 端子から出力する音声に入力するマイク音声のリミッターを使用するかどうかを設定します。 設定値：OFF、ON*
MASTER OUT	[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子から出力する音声の出力方法（モノラル／ステレオ）を設定します。 設定値：STEREO*、MONO
MASTER ATT.	[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子から出力する音声の減衰レベルを設定します。 設定値：0dB*、-6dB、-12dB
MASTER LIMITER	[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子から出力する音声の歪みを緩和するかどうかを設定します。 設定値：OFF、ON*
BOOTH OUT	[BOOTH] 端子から出力する音声の出力方法（モノラル／ステレオ）を設定します。 設定値：STEREO*、MONO
BOOTH ATT.	[BOOTH] 端子から出力する音声の減衰レベルを設定します。 設定値：0dB*、-6dB、-12dB
JOG DISP. BRT.	ON JOG DISPLAY の明るさを設定します。 設定値：1、2、3、4、5*
LED BRIGHTNESS	ボタン、パフォーマンスパッド、有機 EL ディスプレイの輝度を調整します。 設定値：1、2、3*
SLIP FLASHING	[SLIP] ボタンを押したときに、スリップ機能が働くボタンなどのインジケータを点滅させるかどうかを設定します。 設定値：DISABLE、ENABLE*

設定項目	説明
SLIP LIT TYPE	[SLIP] ボタンの点灯、点滅を設定します。 - 設定値：LIT*、BLINK [LIT] は、スリップ機能がオンになったときに [SLIP] ボタンが点灯し、スリップ再生中に点滅します。 [BLINK] は、スリップ機能のオンの間点滅します。
MIDI MODE	本機の MIDI モードを切り替えます。 - 設定値：AUTO*、GENERAL [AUTO] は、Serato DJ Pro が起動しているときは、Serato DJ Pro に最適なコントローラーのモードで、起動していないときは一般的な MIDI コントローラーとして動作します。 [GENERAL] は、Serato DJ Pro の起動に関わらず、一般的な MIDI コントローラーとして動作します。 - Serato DJ Pro 起動中は [GENERAL] には変更できません。
FACTORY RESET	[reset] を実行すると、初期設定に戻します。 設定値：cancel*、reset

----- パワーマネジメント機能

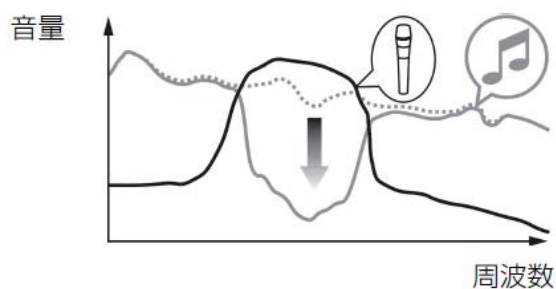
[**POWER MANAGEMENT**] を [**ON**] に設定しているときに、音声信号 (-24 dB 以上) が入力されていない状態で本機を操作せずに 20 分経過すると、自動的にオフモードになります。オフモードになると、[**SLIP/(WAKE UP)**] ボタンが点灯します。左デッキの [**SLIP/(WAKE UP)**] ボタンを押すと、オフモードが解除されます。

- 本機は、パワーマネジメント機能を [**ON**] に設定して出荷しています。
- パワーマネジメント機能を使用しないときは [**OFF**] に設定してください。
- パワーマネジメント機能を [**OFF**] にした場合、消費電力が増加する場合があります。

トークオーバーモード

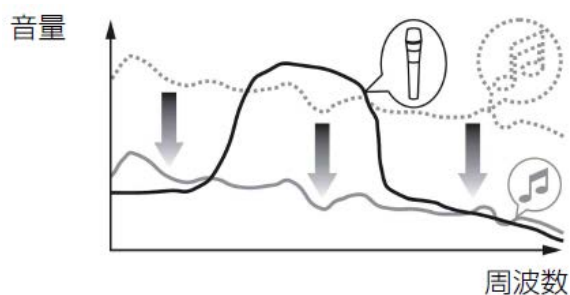
- **[ADVANCED]** :

マイクチャンネル以外の音声、トークオーバーレベルの設定値にしたがって中音域だけ減衰して出力されます。



- **[NORMAL]** :

マイクチャンネル以外の音声、トークオーバーレベルの設定値にしたがって減衰して出力されます。



スリップシートの交換

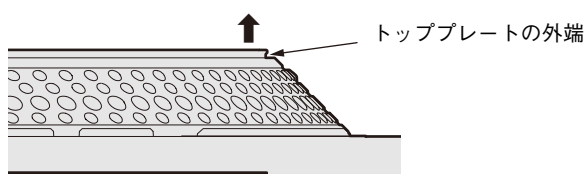
スクラッチの負荷を調整する

トッププレート下のスリップシートを交換して、スクラッチの滑りの負荷を調整できます。

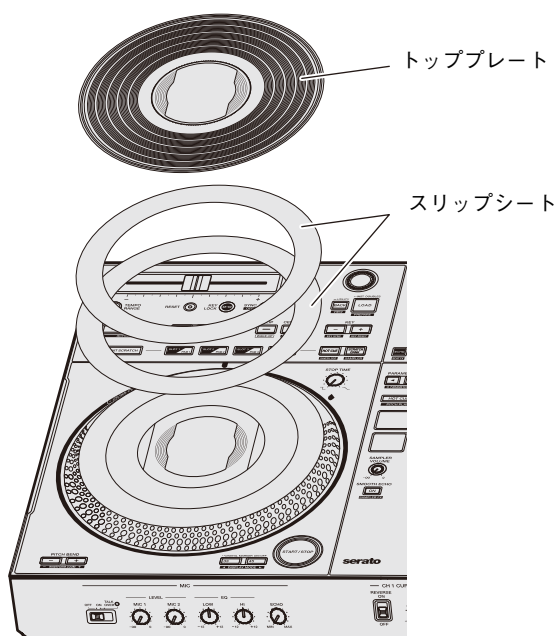
- スリップシート交換は電源を切った状態で行ってください。

1 トッププレートを取り外す

- トッププレートの外端にツメなどを引っかけて持ち上げます。

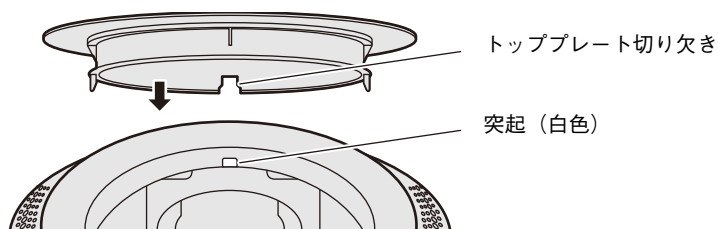


2 スリップシートを交換する



- 取り付け済みのスリップシート（PET製のスリップシート2枚重ね）を、お好みのスリップシートと交換してください。
 - ー スリップシート適正サイズ：外径φ174 mm、内径135 mm、総厚み 1.6 mm以下
 - ー スリップシート推奨枚数：2枚
- スリップシートはトッププレートの回転において重要な部品ですので、取り扱いにご注意ください。

3 トッププレートの切り欠きと突起部を合わせて、トッププレートを装着する



- 異物、ほこりなどの混入を避けるため、スリップシート交換後は速やかにトッププレートを装着してください。

DJソフトウェアを使う（MIDI）

MIDI 対応のソフトウェアをインストールした PC / Mac を USB ケーブルを使って接続すると、本機から Serato DJ Pro 以外の DJ ソフトウェアを操作できます。

- 本機で PC（Windows）上のトラックを再生するには、お使いの PC（Windows）にあらかじめ指定のオーディオドライバーソフトウェアをインストールしてください（23 ページ）。
- 本機の MIDI メッセージについては、下記のサイトを参照してください。

pioneerdj.com/support/

- お使いの PC / Mac に、あらかじめ DJ ソフトウェアをインストールし、オーディオおよび MIDI の設定を行ってください。
- UTILITY 設定の **[MIDI MODE]** で、本機の MIDI モードを設定できます（105 ページ）。
- ボタンによっては、DJ ソフトウェアの操作に使用できないことがあります。

スペック

仕様

AC アダプター

電源.....	AC 100 V～240 V、50 Hz / 60 Hz
定格電流.....	1.5 A
定格出力.....	DC 24 V、3.75 A

本体一般

消費電流.....	DC 24 V、1 000 mA
待機時消費電力（OFF時）.....	0.3 W
本体質量.....	10.7 kg
最大外形寸法	(W x H x D) 732 × 82.4 × 382.2 mm
許容動作温度	+ 5 °C～+ 35 °C
許容動作湿度	5 % ～85 %（結露のないこと）

ターンテーブル部

駆動方式.....	サーボ式ダイレクトドライブ
モーター.....	3 相ブラシレスDC モーター
ブレーキシステム	電子ブレーキ
回転数	33 1/3 rpm、45 rpm
回転数調整範囲.....	± 8 %、± 16 %、± 50 %
ターンテーブル.....	アルミダイカスト 直径：207 mm
起動トルク.....	0.18 N・m（1.8 kgf・cm）
起動時間.....	0.7 秒以内（33 1/3 rpm 時）

オーディオ部

サンプリングレート.....	48 kHz
A / D、D / A コンバーター.....	24bit
周波数特性	
USB、LINE、AUX (LINE / PORTABLE)、MIC 1、MIC 2.....	20 Hz～20 kHz
S / N 比（定格出力時、A-WEIGHTED）	
USB.....	110 dB
LINE	95 dB
PHONO	84 dB
AUX (LINE)	95 dB
AUX (PORTABLE).....	89 dB

MIC 1.....	81 dB
MIC 2.....	81 dB
全高調波歪率 (20 Hz ~ 20 kHzBW)	
USB.....	0.003 %
LINE.....	0.005 %
PHONO.....	0.017 %
基準入力レベル / 入力インピーダンス	
LINE.....	-12 dBu / 47 kΩ
PHONO.....	-52 dBu / 47 kΩ
AUX (LINE).....	-12 dBu / 47 kΩ
AUX (PORTABLE).....	-24 dBu / 47 kΩ
MIC 1.....	-57 dBu / 3 kΩ
MIC 2.....	-57 dBu / 3 kΩ
基準出力レベル / 負荷インピーダンス / 出力インピーダンス	
MASTER 1.....	+6 dBu / 10 kΩ / 450 Ω 以下
MASTER 2.....	+2 dBu / 10 kΩ / 820 Ω 以下
BOOTH.....	+6 dBu / 10 kΩ / 820 Ω 以下
PHONES.....	+8 dBu / 32 Ω / 10 Ω 以下
定格出力レベル / 負荷インピーダンス	
MASTER 1.....	+24 dBu / 10 kΩ
MASTER 2.....	+20 dBu / 10 kΩ
BOOTH.....	+24 dBu / 10 kΩ
クロストーク	
LINE.....	89 dB
PHONO.....	78 dB
チャンネルイコライザー特性	
HI.....	- ∞ dB ~ +6 dB (20 kHz)
MID.....	- ∞ dB ~ +6 dB (1 kHz)
LOW.....	- ∞ dB ~ +6 dB (20 Hz)
マイクイコライザー特性	
HI.....	-12 dB ~ + 12 dB (10 kHz)
LOW.....	-12 dB ~ + 12 dB (100 Hz)
入力 / 出力端子	
LINE / PHONO 入力端子	
RCA ピンジャック.....	2 系統
MIC 入力端子	
XLR コネクター & 1/4" TRS ジャック.....	1 系統
1/4" TRS ジャック.....	1 系統

AUX 入力端子

RCA ピンジャック 1 系統

MASTER 1 出力端子

XLR コネクター 1 系統

MASTER 2 出力端子

RCA ピンジャック 1 系統

BOOTH 出力端子

1/4" TRS ジャック 1 系統

PHONES 出力端子

1/4" ステレオジャック 1 系統

3.5 mm ステレオミニジャック 1 系統

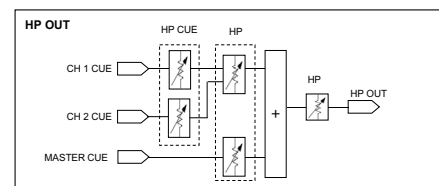
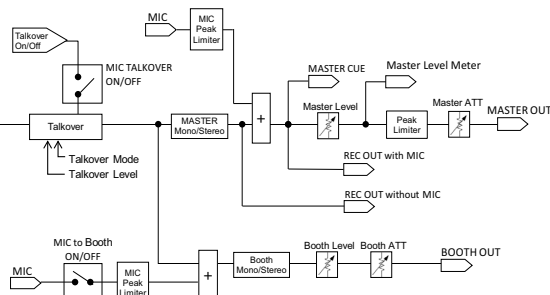
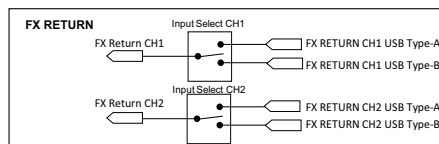
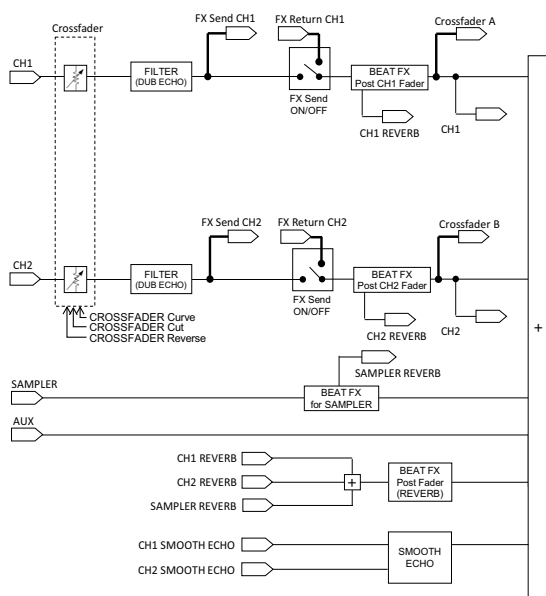
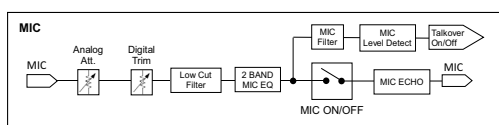
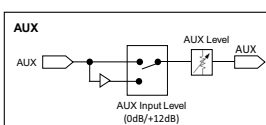
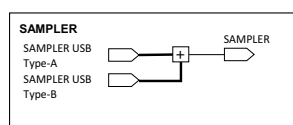
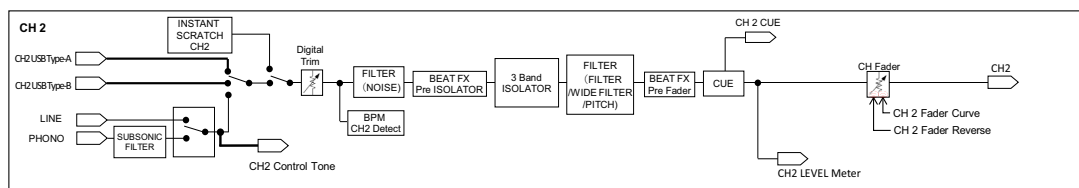
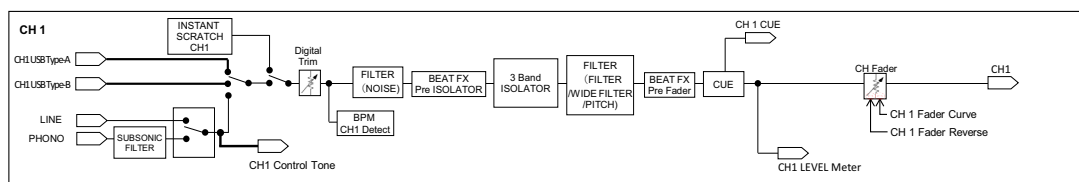
USB 端子

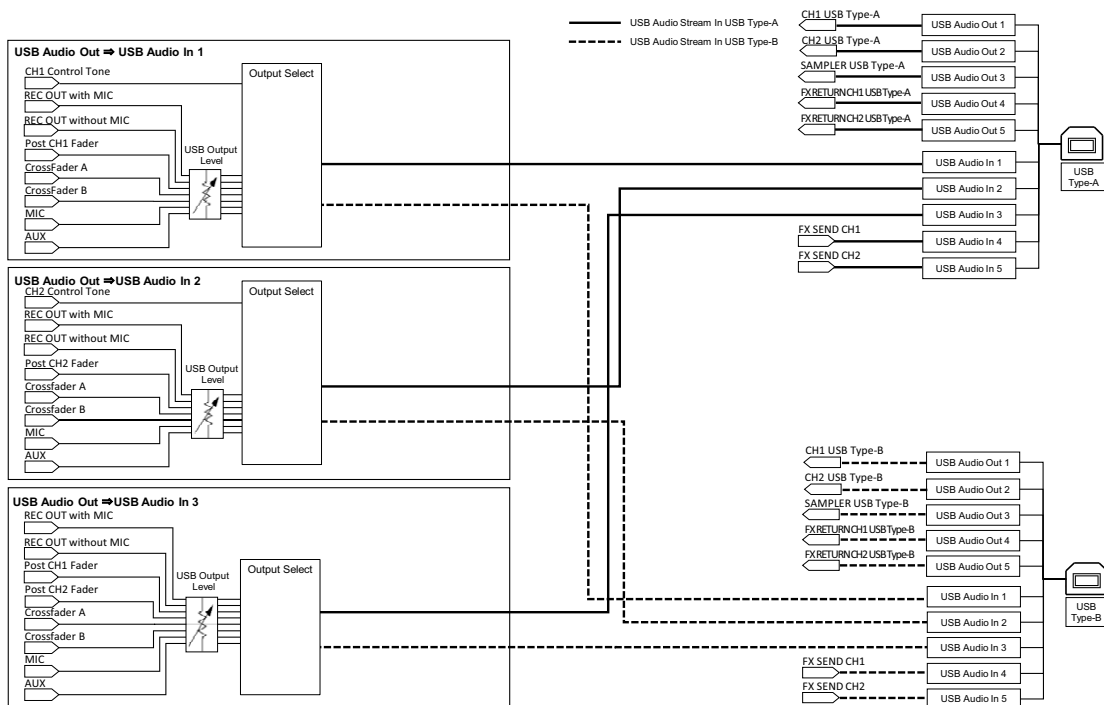
USB type-B 2 系統

- **[MASTER 1]** 端子は、必ずバランス出力として使用してください。
XLR-RCA変換ケーブル（変換アダプター）などを使ってアンバランス入力（RCA など）へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。
- アンバランス入力（RCA など）の接続には、**[MASTER 2]** 端子を使用してください。
- **[BOOTH]** 出力端子は、必ずバランス出力として使用してください。
TRS-RCA 変換ケーブル（変換アダプター）、TS ケーブルなどを使ってアンバランス入力（RCA、TS 端子など）へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ブロックダイアグラム





その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目および、Pioneer DJ サポートページから [DDJ-REV7] の「よくある質問 (FAQ)」を確認してください。

pioneerdj.com/support/

- 本機と接続している機器も確認してください。
- 電源を入れなおすと正常に動作することがあります。

それでも正常に動作しないときは、「使用上のご注意」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

電源

❖ 本機の電源が入らない

- 「接続（基本スタイル）」（35 ページ）を参照してください。
- 本体リア部の  ボタンを押して、電源をオンにしてください。

接続

❖ 本機が認識されない

- 付属のUSBケーブルを正しく接続してください（14 ページ）。
- USBハブを使用している場合は、使用を止めてください。
- PC／Macに本機以外のUSB機器が接続されている場合は、外してください。
- PC（Windows）をお使いの場合は、ドライバソフトウェアを正しく設定してください（23 ページ）。
- ほかのアプリケーションが動作している場合は、すべてのアプリケーションを終了してください（スクリーンセーバーや常駐ソフトも含む）。ウイルスセキュリティソフトなどを終了する場合は、PC／Macの安全を確保するため、インターネットの接続を切断してください。
- PC（Windows）をお使いの場合は、本機用以外の不要な ASIO ドライバーをアンインストールしてください。

- お使いのPC／Macで本機が認識されているか、設定ユーティリティで本機のファームウェアバージョンが表示されるかを確認してください（33 ページ）。

音声出力

❖ 音がでない、音が小さい、音がひずむ

- [TRIM] ノブ、[MASTER LEVEL] ノブ、[LINE/PHONO] スイッチ、入力切替えスイッチを正しく設定してください。
- 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください（14 ページ）。
- 端子やプラグの汚れを確認し、汚れを拭き取ってから接続してください。
- Macをお使いの場合は、DJソフトウェアのバッファースイズ（レイテンシー）を最適に設定してください。
- Windowsをお使いの場合は、設定ユーティリティでバッファースイズを最適に設定してください（28 ページ）。

❖ マイクの音が出ない

- [OFF, ON, TALKOVER] 切替えスイッチを正しく設定してください（81 ページ）。

❖ サンプラーデッキの音声をヘッドフォンでモニターできない

- [SAMPLER VOLUME] ノブを適切に設定してください。
- Serato DJ Proの [Sampler Player Output Select] を [A] に設定してください。

Serato DJ Pro

❖ Serato DJ Pro の動作が不安定

- Serato DJ Proのバージョンを最新にしてください。
- Serato DJ Pro以外のソフトウェアを終了してください。それでも不安定な状態が続く場合は、無線接続、ウイルスセキュリティソフト、スクリーンセーバー、省電力モードなどを無効にしてみてください。
ウイルスセキュリティソフトなどを終了する場合は、PC／Macの安全を確保するため、インターネット接続を切断してください。
- PC／Macに本機以外のUSB機器が接続されている場合は、外してください。
- USBハブを使用している場合は、使用を止めてください。
- ラップトップをバッテリーで駆動している場合は、ACアダプターで電源供給してください。

❖ ライブラリにトラックが表示されない

- ライブラリにトラックがない場合は、音楽ファイルをインポートしてください。インポート方法の詳細については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（7 ページ）。
- トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいる場合は、トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。

❖ ライブラリに iTunes の曲が表示されない

- [SETUP] メニューの [Library + Display] タブの中の [Show iTunes Library] にチェックが入っていない場合は、チェックを入れてください。すでにチェックが入っている場合は一旦チェックを外してから再度チェックを入れてください。インポート方法の詳細については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（7 ページ）。
- トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいる場合は、トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。

❖ ライブラリの音楽ファイルを編集できない（曲名の修正など）

- [SETUP] メニューの [Library + Display] タブの中の [Protect Library] が有効になっている場合は、無効にしてください。

❖ Serato DJ Pro のバーチャルデッキが表示されない（オフラインプレーヤーが表示される）

- 付属のUSBケーブルを正しく接続してください（35 ページ）。
- Serato DJ Proのバージョンを最新にしてください。

その他

❖ BPM が表示されない、SYNC / オートループが動作しない

- オフラインプレーヤーの設定で [Set Auto BPM] にチェックを入れてから、曲を解析してください。曲の解析方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（7 ページ）。

❖ BPM やビートグリッドが正しく表示されていない、ビートグリッドがずれている

- BPM 解析範囲を変更してから、もう一度曲を解析してください。それでも解決しない場合は、手動でビートグリッドやBPM を設定してください。

- ビートグリッドを調整してください。ビートグリッドの調整方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（7 ページ）。

❖ ジョグが回転しない

- 入力切替えスイッチを [A] または [B] に設定し、[START/STOP] ボタンを押してください。

❖ DJソフトウェアを使っているとき再生中の音声がとぎれる

- Macをお使いの場合は、DJソフトウェアのバッファサイズ（レイテンシー）の値を適切に設定してください。
- PC (Windows) の場合は、設定ユーティリティでバッファサイズの値を適切に設定してください（28 ページ）。

❖ BPM は表示されるがビートグリッドが表示されない、スライサー ループが動作しない、JOG SKIP が動作しない

- オフラインプレーヤーの設定で [Set Auto BPM] と [Set Beatgrid] にチェックを入れてから、曲を解析してください。曲の解析方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（7 ページ）。
- ビートグリッドを設定してください。ビートグリッドの設定方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（7 ページ）。

❖ 再生中に ON JOG DISPLAY の動作表示が回転しない、回転するが Serato DJ Pro のバーチャルデッキと同期していない、デッキを 切り替えると、[TEMPO] スライダーの操作が効かない

- UTILITY 設定の [MIDI MODE] を [AUTO] に設定してください（105 ページ）。

❖ インジケーターが点滅し、動作がおかしい

- 動作がおかしい、または起動しない場合は、DCジャックからACアダプターのケーブルを抜いて、しばらく経ってから接続し直してください。それでも症状が発生する場合は、修理を依頼してください。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が現れることがありますが、液晶特有の現象で故障ではありません。
- 寒い場所で使用する際は、本機の電源をオンにしたあと液晶画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たって画面表示が見えにくいときは、直射日光をさえぎってください。

クリーニングについて

液晶画面が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

- 有機溶剤・酸・アルカリ類は使用しないでください。

商標および登録商標について

- Mac、macOS および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH. の商標または登録商標です。
- Serato DJ Pro は Serato Limited 社の登録商標です。

その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアのライセンス

- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

Apache

Copyright (c) 2009-2019 ARM Limited. All rights reserved.

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the License); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an AS IS BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

BSD

The BSD-3-Clause License

Copyright (c) 2015, Freescale Semiconductor, Inc.

Copyright 2016-2020 NXP

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

著作権

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CDなどから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2021 AlphaTheta 株式会社 禁無断転載

<DRJ1089-C>